
平成31年 第1回 (定例) 西 米 良 村 議 会 会 議 録 (第4日)

平成31年3月4日 (月曜日)

議事日程 (第2号)

平成31年3月4日 午前9時00分開会

日程第1 議案第20号 平成31年度西米良村一般会計予算

本日の会議に付した事件

日程第1 議案第20号 平成31年度西米良村一般会計予算

出席議員 (8名)

1 番 中武 智和君	2 番 白石 幸喜君
3 番 上米良 玲君	4 番 濱砂 勝義君
5 番 上米良秀俊君	6 番 中武 勝文君
7 番 濱砂 恒光君	8 番 濱砂 征夫君

欠席議員 (なし)

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 濱砂 雅彦君	書記 那須有美恵君
-------------	-----------

説明のため出席した者の職氏名

村長 ----- 黒木 定藏君	副村長 ----- 梅本 昌成君
教育長 ----- 古川 信夫君	総務課長 ----- 牧 幸洋君
むら創生課長補佐 ----- 中武敬一朗君	会計管理者 ----- 土持 光浩君

福祉健康課長 ----- 吉丸 和弘君 村民課長 ----- 田爪 健二君
建設課長 ----- 上米良 敦君 農林振興課長 ----- 上米良重光君
教育総務課長 ----- 濱砂 亨君 代表監査委員 ----- 黒木 正近君

午前9時00分開会

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同、ご起立ください。一同礼、ご着席ください。

○議長（濱砂 征夫君） ただ今の出席議員は8名です。定足数に達していますので、ただ今から、平成31年第1回西米良村議会定例会第4日目の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 議案第20号

○議長（濱砂 征夫君） 日程第1、議案第20号平成31年度西米良村一般会計予算を議題とします。提出者の説明を求めます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） それでは、ただ今上程いただきました、議案第20号平成31年度西米良村一般会計予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

平成30年度の我が国の経済は、アベノミクスの効果を受け、企業収益が過去最大を記録するなど、就業者の増加、賃上げ、雇用、所得環境が大きく改善されました。経済の好循環が着実に回りつつあると言われております。また、財政面では国・地方の財務残高がGDPの2倍程度に膨らむ、さらなる累増が見込まれるとともに、国債が毎年度の一般会計歳出総額の2割以上を占めるなど、引き続き厳しい状況にあるとされております。

このため政府は平成31年度予算につきましては、経済再生なくして財政健全化なしを基本とする、戦後最大の600兆円経済と財政健全化の双方を達成することを目指しており、経済の回復基調が維持するよう、昨年6月に閣議決定されました、経済財政運営等、改革の基本方針2018に基づき、幼児教育の無償化を初めとする人づくり革命等、第4次革命の技術革新等を通じた生産性革命に最優先で取り組むといた

しておるところであります。

一方、地方財政につきましては、地方の安定的な財政運営に必要となる、一般財源の確保につきましては、2018の骨太の方針におきまして、2021年までは平成30年度の水準を下回らないように、実質的に同水準を確保するとされております。これを受けて平成31年度の政府予算でも、地方交付税については16.2兆円と、前年度を2,000億円上回る規模での確保をされているところでございます。しかしそう言いながらも、近年、我々の地方交付税が漸減しつつあるのはご承知のとおりでありまして、今後もこの財源の確保は、最大限の我々の課題であるというふうに認識をいたしておるところであります。

これらを踏まえまして、平成31年度一般会計予算につきましては、国や県の動向を注視しつつ、本村のもつ魅力と資源を生かしながら、重点項目として次代につながる人づくり、村づくり、2番目に関係人口の創出と観光交流の拡大、3つ目に安全・安心な暮らしの確保を掲げ、幸せ度の高い村づくり、人づくりの実現を目指すことといたしたところであります。

さらに本年は5月1日に新元号に変わります。さらには、本村におきましては、明治22年5月1日以来、実に130年という時を迎えることとなります。そして、本村の大きな観光施設であります、ゆた〜とが丸20年、おがわ作小屋村が10年という、まさに節目の年を迎えようとしていますので、これを機にさらに本村の振興発展を図るべく取り組んでまいりたいと思っております。

それでは、予算の内容についてご説明申し上げたいと思います。

予算総額は29億5,756万8,000円で、西米良村長選挙のために骨格予算だった前年度に比べまして16.8%、4億2,525万8,000円の増となりました。歳入全体といたしましては、村税使用料、繰入金などの自主財源の総額は10億9,341万3,000円で、その割合は歳入総額の37%となっております。

一方、地方譲与税、地方交付税、国県支出金、村債等の依存財源の総額は18億6,415万5,000円で、歳入総額の63%となり、依然として依存財源に大きく左右される財政構造になっていることは、以前と大きくは変わらない状況にあります。

主な歳入について申し上げます。地方交付税は単位費用の減額が見込まれるなど、対前年度比2.6%減の9億4,800万1,000円といたしました。国庫支出金は、公共土木施設災害復旧補助金等の皆増によりまして1億5,792万5,000円となり、対前年度比で6.8%の増となっております。県支出金は地籍調査県補助金の増や県議会議員選挙、参議院議員選挙による県委託金の増で1億5,602万8,000円となり、対前年度比で15.9%の増となりました。

繰入金にはふたば園の施設整備基金、それから情報網整備基金等によりまして、8億1,878万9,000円となりまして、対前年度比4.9%の減となっております。

村債はデジタル防災無線整備、上米良住宅整備等によりまして、5億3,780万円となりまして、前年度に比べまして大幅な増となりました。

次に主な歳出について申し上げます。歳出全体といたしましては、人件費、扶助費、公債費等で構成される義務的経費が7億9,065万8,000円で、歳出総額の26.7%。物件費、維持補修費、補助費、繰出金等で構成されます一般行政経費は10億3,267万8,000円で歳出総額の34.9%。投資的経費につきましては、11億1,423万2,000円で、歳出総額の37.7%となっております。

次に主な歳出について申し上げます。総務管理費は新庁舎建設工事の完了に伴い、予算総額は前年度比で大きく減となりました。村政130年記念の事業398万4,000円等を計上させていただきまして、4億5,918万8,000円となりました。児童福祉費は認定こども園建設に係る工事請負費1億7,800万円等によりまして、3億1,855万5,000円となりました。消防費につきましては、デジタル防災無線等整備事業費4億5,137万7,000円等により、4億8,548万円となっております。

なお基金につきましては、3月補正後の残高が24億6,500万円となる見込みとなっておりますが、今後3月末に交付される特別交付税が確定した段階で、財政調整基金に積み立てる予定としているところであります。

以上、平成31年度の予算概要について申し上げますが、ご質疑に応じまして、それぞれの担当課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、可決賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（濱砂 征夫君） 提出者の説明が終わりました。これより質疑を行います。

ここで質疑の方法をお諮りします。質疑は最初に事項別明細書の歳出から、款あるいは一部の項ごとに行い、次に同じく歳入を款ごとに行い、最後に議決に附された各表と、付属の調書を含めた予算案全体にわたって補足または総括しての質疑をすることにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。従って質疑は最初に事項別明細書の歳出から、款あるいは一部の項ごとに行い、次に、同じく歳入を款ごとに行い、最後に予算案全体にわたって補足または総括しての質疑をすることにします。

質疑 1 款 1 議会費

○議長（濱砂 征夫君） 最初に事項別明細書の歳出、款 1 議会費について質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進みます。

質疑 2 款 2 総務費 項 1 総務管理費

○議長（濱砂 征夫君） 次に、款 2 総務費の質疑を項ごとに行います。

まず、項 1 総務管理費について質疑はありますか。

○議員（7 番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7 番、濱砂 恒光君。

○議員（7 番 濱砂 恒光君） 担当課長に伺います。村政 130 周年記念の行事が各種事業等などが組み立てられています。また予算についても多くの計上がなされているところであり、130 周年の実施日程と出席者の人数、記念行事、アトラクションの内容などがわかれば、教えていただきたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それでは、ただ今の質問にお答えしたいと思います。西米良村 130 周年記念事業につきましては、先程当初予算の説明でもありましたように、

130周年を記念する事業として実施するということと、またこの度改元が行われるということで、平成の時代の終結というタイミングにもあります。そういったことで、前回平成元年に行われました100周年から、以降の平成の時代にですね、村民一丸となって取り組んできた村づくりにつきまして、村民への感謝、そういったもの、そしてまた、新たな時代への再出発という機にするということの趣旨で行うということにしております。

この記念式典につきましては、今年ですね、11月の上旬に日程を組むこととして、今素案として考えているところでございます。

式典の内容につきましては、オープニングイベント、アトラクション、いろんな村民の発表、もしくはこれまで130年の歴史を綴ったビデオ等の上映、そういったものから、式典の中で、功労者への表彰、そういったものをですね、村内外からご来賓を集めまして実施をさせていただくということで考えております。

人数の規模については、今後調整はしていくことになると思いますけども、おおむね100名から120名前後ですね、調整をしていきたいというふうに考えているところでございます。以上です。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 記念行事のアトラクションとしてどのようなことを考えておられますか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） 具体的にはこれからの調整ということになっておりますけども、式典のオープニングでの発表ということで、村民のいろんな各種団体の発表、そういったものをベースに検討していきたいというふうに考えております。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 私の方から補足説明いたします。130周年をやる一番の目的は、この西米良を築いてきていただきました多くの皆さんに、感謝の場としたいと思っております。私が20年以上村長をやらせていただいておりますが、まだ一度も村民の

皆さんに、長きにわたって本当にコツコツとこの村の下支えをしていただき、また汗馬の労をたくさんとっていただきました皆さんに、感謝の気持ちをお伝えする機会がございませんでした。従いまして、今回長い間、例えば民生委員を長くしていただいた、交通指導員を長くしていただいた、またそのほかお墓の掃除を長くしていただいた、いろんな方が、この村をしっかりと支えていただいた、大きな力として存在するわけでありまして、それらの方々に感謝の念を捧げる機会としても、今回はぜひともやらせていただきたいと思っております。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） あと2点ほどお伺いをします。39ページですね。昨年度も行われました明日への翼事業についてお伺いしますが、昨年度は村長を含めて15名の参加者があったようです。今年度の実施でいくと何名ぐらいの参加者を募るのかお伺いいたします。

それと42ページの免許返納者について、これまでに何名ぐらいの免許返納者がおられるか伺います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 7番議員の質問にお答えいたします。まず39ページの明日への翼事業につきましては、本年度につきましても昨年と同じ規模で15名ほどを考えております。時期的には今後また検討しなくてははいけませんけど、秋口を今のところ考えております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 7番議員のご質問にお答えしたいと思います。平成28年の9月に、高齢者の免許自主返納の事業を始めまして、現在まで23名の方が返納されております。以上です。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 130周年記念の事業ということで、関連しますのでご質問させていただきますが、まず130周年記念事業、予算も多岐にわたっております。総務費、総務の方から教育委員会の方まで多岐にわたっておりますが、まずその130周年記念のですね、総事業費、どのくらいの事業でこの事業をされるのか、記念式典以外にも。それとですね、これについては記念式典以外に関連の事業があるかどうかと思いますが、その分も含めた総事業費を伺います。

それから関連事業としまして中身を見てみますと、イキイキ文化祭、教育委員会関係ですが、記念の公演、それから花火大会、特別プログラム、それから西米良きてくりゃいキャンペーン経費等、それから村外出身者とのネットワークづくり事業等、計画がなされておりますが、詳細については今後検討されるかと思いますが、予算計上された分についてはある程度の積算基礎があると思います。現在予定されているその事業について、2点伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それではただ今のご質問にお答えしたいと思います。先程ご説明したことにつきましては、記念式典の部分についてでしたけども、議員のおっしゃるとおり、関連事業としまして、イキイキ文化祭における記念公演、花火大会の特別感謝プログラム、西米良村きてくりゃいキャンペーン。観光誘客。対策。そして村民と村外出身者とのネットワークづくりの大同窓会事業というようなものをですね、関連事業として実施する予定ということにしております。この関連事業につきましては、本事業の趣旨を踏まえまして、1日の式典だけで終わらせることなく、今年をですね、新たな村づくりの好機、この1年をですね、そういったタイミングとするということの位置づけにしたいというふうに考えるところです。村政のさまざまな場面ですね、130周年ということをですね、うたっていきながら、推進していきたいというふうに考えておりますけども、その1つとしてですね、村民の学びの場でありますイキイキ祭における記念公演等をですね、充実させることで、また村民への村づくりへの参画を促したりとか、花火大会とか観光キャンペーン等の実施によりまして、PR誘客を図っていきたい。そして、同窓会事業につきましても、村外のUターンと

かですね、村外者の協力による村の情報の発信、そしてふるさと納税の推進などいろんなことにですね、影響があるかというふうに考えておりますので、そういった外部からの村を支える関係人口としてですね、村外者との連携を図るきっかけづくり、そういったものをトータルでですね、村の活性化につなげていきたいというふうに考えております。

それぞれ予算につきましてはありますけども、記念式典が、先程ありましたように約400万円程度、関連事業で370万円程度、合計で768万円の予算を予定しております。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。内容については今後検討されるということだと思います。ただ1年間を通じた事業ということになるかと思っておりますので、しっかり一貫性を持ってですね、最後には130周年の催す祭典だったよという一貫性のあるような事業にしていきたいというふうに考えます。

それから33ページになりますが、総務管理費、委託料の職員採用試験問題対応等委託6万円が計上されてございます。これにつきましては、毎年退職される職員の方もおられますし、それに加えて新規の採用していくための問題というふうに考えますけども、これは村長のほうのお考えになるかと思っておりますが、今後職員の採用人数ですよ、どのようにして職員をふやしていかれる予定があるのか、1点お伺いをしたいというふうに思います。

それから40ページになります、総務管理費の負担金補助金及び交付金の中の、米良バイト運営補助金25万円。それからカップリングイベント補助金20万円。それぞれ計上されてございますが、この補助金につきましてはの支出先、どのような団体に支出されるのか、個人になるのかわかりませんが、その支出先と、どのような事業を計画されているのか、伺います。

それからもう1点ですが、42ページの総務管理費の負担金補助金及び交付金の中の、42ページ、ふるさと交流の会活動支援補助金というのがございます。これは多分ふるさと会の活動に対する支援補助金ということだと思いますが、いろいろお話

を聞きますと、会員の方たちもかなりもう限定されてきたと、これは年数が経ってきてそういう状態になっていると思いますが、やはり会の内容についてもふるさと交流の会のほうで検討されると思いますけども、役場執行部のほうとして補助金を出されておりますので、監督するような意味でですね、今後内容の検討とか、そういった指導についてお考えはないか、以上、伺います。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） それではただ今の2番議員のご質問にお答えします。まず最初の第1点目ではありますが、職員の採用について。これらにつきましては今、職員の採用につきましては、非常に厳しい環境にある。よくご存じのとおりであります。今宮崎県全体もそうなんです、高校を卒業する人とか地元に残る割合が6割程度ということであります。一方富山県あたりは9割以上が残るといことがございます。特に地方から都会に就職を求める若者がふえてきているのは事実であります。こういう中で今、高齢化社会、少子化社会を迎えて、そして、私たちの地域の中で大きな問題がいくつも挙がっております。それはやっぱり健康問題、教育問題等であります。特に高齢者の皆さん方をしっかりとサポートする体制を維持するには、それだけのスタッフと技術が必要であります。従いまして、今年1人、例えばそういう人が辞めたから1人入れるというような状況では確保はできません。従いまして今、本村では、担当課等含めながらでございますが、随時例えば看護師、それから保育士、栄養士、それから介護福祉士、その他含めまして、いわゆる資格を有する職業の方々につきましては、随時募集体制をしていく。そして募集していい人がいたら受け入れるという形をしたいというふうに思っております。西米良村には職員の定数管理ということもございますが、しかしこれはですね、今朝の新聞にありましたように、各議員の定数というの、本来はそれぞれの地域の実情に合わせた定数であるべきではないかという大学の教授のお話がありましたように、私たちのこの村の役場の職員の数につきましても、必要度に応じてやっぱり動くというのが正しいと思いますし、またこの地域のあらゆる機能をしっかりと強化し、そしてこの地域を支える力になっていただくためには、役場からいろんなところに出向してでもそういう機能を守る、保つということも

含めて、これから考えていかなきゃいけない時にきている、そのように考えておりますので、随時といいますか毎年ですが、募集をかけながら、より適切な方が来ていただけるよう努力をしていきたい。もちろん役場の職員をむやみやたらふやすということではありません。もちろんそれは財政としっかりと、財政の状況をしっかりと把握しながら、質の高い職員を確保し、また教育し、そして村民の皆さんのお役に立てるような機能を従事していこうというふうに思っております。従いまして、そのようなことで、辞めたものの補充は、これは当然いたしますけども、プラスしてそのような人材の確保について努力してまいる予定であります。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 2番議員のご質問にお答えします。3点、米良バイト、カップリングイベント、ふるさと交流の会につきまして、ご回答いたします。

まず、米良バイト運営補助金につきまして、内容的にはご存じと思うんですけど、農業が一番忙しい時期、夏ですね、夏とあと大学生が時間がある夏休み、これを利用したワーキングホリデー制度の実施になります。これにつきましては、平成29年度から実施しております、この補助金につきましては米良バイト実行委員会という組織があります。農業関係の若手が集まっている団体・組織になります。そちらのほうに補助を申請いたしまして、内容としましては、米良バイトの募集、PRの広告費、今後は、昨年少なかったのでSNS、そういったのですね、ターゲットを絞って募集をしようかなと思っております。それと、交通費の補助であったり、宿泊施設の補助、そういったものとして支出をさせていただいております。

それとカップリングイベント補助金につきましてですけども、こちらにつきましては、前にですね、めぐり逢い実行委員会という独身会の委員会がありまして、最近はちょっと実施をしていなかったんですけども、私、移住・定住の担当もしております、人口をふやさなくちゃいけないと思っていたんですけど、蓋を開けてみると独身男性が40人今いるというのに気づきました。ということでこちらのほうも力を入れていきたいということで、この事業を復活させたところです。内容といたしましては、めぐり逢い実行委員会のほうに補助を申請いたしまして、私も一緒に入って、例えば 亜細亜観光さんとですね、連携して独身のツアーを開いたり、あと県のほうにも各青

年会とか商工会青年部、そちらに出す補助金等もありますので、そちらのほうも情報を得て、各団体と連携しながら実施していきたいなと思っております。

それから最後ですけど、ふるさと交流の会につきましてなんですけども、現在121名の方が会員になっております。先程2番議員の方がおっしゃったとおり、年々参加者も少なくなってきました、実際。最近はですね、菊池市のほうもやっぱりやっていますけど区長さんだったりとか、そういった方たちが来ているところも多いです。というので、西米良村としても、一般公募もいたしますけれども、各団体のほうに依頼をしたり、例えば去年は小川神楽保存会のほうに行ってもらいました。そういった団体のほうにも呼びかけていこうかなと思っております。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。村長から丁寧なご答弁をいただきましたけれども、役場の職員というのは、私も経験しましたが。やはり地域の人から見ると、やはりリーダーというような位置づけで見ていただくような立場だというふうに認識をしております。新規採用につきましても、計画的に入るといってもありますので、しっかりと親切に地域のリーダー、村のリーダーとなるようなご指導をいただければというふうに思います。

それから各イベント等につきましては、課長補佐のほうからご説明がありまして、了解いたしました。せっかく予算をつけてやる事業でございますし、また、村のためになる事業だというふうに考えます。先細りしないようにしっかりとサポートをしていただくように、お願いをいたします。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） まず最初に33ページでございますが、連結財務諸表作成業務委託料341万円。予算編成等に利用したい、活用したいということを説明されましたけれども、予算作成にかかわらずですね、どのような方法で活用されているのか、担当課長にお伺いをしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長(牧 幸洋君) それではただ今のご質問にお答えいたしたいと思っております。この財務諸表につきましては、ご承知のとおり貸借対照表、そういったものを踏まえた4表によって構成されているものなんですけども、この活用につきましては、現在のところ予算の作成、そういったもののほか、公共施設のですね、総合計画の管理計画表、そういったものを作成時に反映をしたりとか、活用または住民等への説明ということでですね、こちらはホームページでの公表をしているところなんですけども、そういったもので活用しているところではございます。ただ全国的な活用の状況を見ますと、平成29年度の段階です、財務処理を使って各種財政指標に活用したというところがですね、市町村レベルで32%程度、全国で都道府県も含めたところでもやはり同レベルということになっております。また、同じように住民への活用でいっても、市町村レベルで19%程度、都道府県をふまえた全国でもやっぱり20%ということであまり変わらなくてですね、まだこれから活用の方法をですね、全国的にどうしていくかということが課題かなというふうに考えておるところでございます。現在のところ本村において先程財政の関係です、いろいろな指標の参考にすることがあったんですけども、これは財務諸表をですね、作成する時期がどうしても時間の関係で12月ぐらいになることで、ちょうど予算のですね、ある程度締め切り、完了の時期になりまして、どうしても前年度の決算を踏まえた財政指標が翌年ですぐ反映させるということが、なかなか今、状況でもタイミング的に難しいというような状況もありますので、そこらへんも踏まえて、今後やり方の方法、もしくは反映のさせ方、そういったものを、今後検討していきたいというふうに思っております。以上です。

○議員(5番 上米良 秀俊君) 議長。

○議長(濱砂 征夫君) 5番、上米良 秀俊君。

○議員(5番 上米良 秀俊君) はい、了解いたしました。財務諸表というのは本当に大変難しいことでありまして、役場の職員にちょっと一部お聞きしたんですけども、全然意味がわからんとかですね、読み方がわからんとか、そういうこともありますので、毎年200万円から300万円の財務諸表の作成をされるのであれば、やはり職員からの研修をして、全ての職員がこの財務諸表を見れるような知識をつけなければ

いけないんじゃないかなと思っております。

次にいきます。35ページです。工事請負費3,410万円ありますが、これについては、越野尾八毛巻に設置される携帯電話基地局整備事業と説明書に書いてございますけれども、いつごろ着工され、使用開始の予定ですね、これをお伺いしたいと思いますし、また、村内各地、携帯電話が使用できないところが多々ありますけれども、なぜこの八毛巻のほうに設置されるのか、お伺いをいたします。

また、西都・西米良間におきまして、電波受信ができないところがございしますが、それを解消するために、どのような対策を取られているのか、村外のことでありますので知り得る情報でけっこうでございますが、教えていただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 5番議員の質疑にお答えいたします。まず、携帯電話基地局整備事業につきましては、来年度実施いたしまして、来年のうちに実施いたしまして、携帯が入るのは3月下旬ということに、聞いております。それと、なぜ八毛巻地区ということなんですけれども、この整備事業につきましては、国の事業を使わせていただきます。この国の事業がですね、全く携帯電話が繋がらない場所。ドコモもauもどの機種も繋がらない場所。それと今後計画がない場所ということになっております。一応この場所を決める時にですね、八毛巻地区と小川地区の2カ所、こちらのほうも調査をいたしました。ただその後ですね、別の会社のほうがこちらのほうに計画があるということでしたので、この事業が使えなくなりましたので、この場所1カ所にしたところなんです。こちらにつきましては毎年総務省のほうから調査がありますので、毎年そういったこの会社で計画があっても、そういった制限がないようお願いしたいというように要望はしております。そういうところで八毛巻1カ所ということで決めております。

それと西都・西米良間につきましてはですけど、西都市のほうがですね、何カ所か今、5カ所ほど鉄塔を建てるという計画を聞いております。今年度中にですね。以上で説明を終わります。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 西都市のことですから私のほうから言います。6カ所整備されます。そのうち4カ所が国道沿い。ですから瓢箪淵から下で4カ所、国道沿いにアンテナが建つというふうに向っております。本年度の事業ですから今ありましたように、本年度いっぱいには建たなきゃいけないということになっているんですが、間に合うのかなあって思って、他人事ながら心配しておりますが、そういうことに聞いております。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解いたしました。3月下旬には使用開始できるということで、大変あの辺りは電波も届かないところですので、喜ばれるんじゃないかなと思っております。早期の使用開始を望みます。

続きまして38ページでございますが、企画費、移住相談員報酬が30万2,000円あります。どのような業務になるのかということで、まあ移住相談員、移住するための相談だろうと思いますけれども、例えば月1回相談日を設けるかなど具体的な事柄がわかっているならば教えてほしいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 5番議員の質問にお答えいたします。まずこちら各地区に相談員を設けたいという事業になります。というのは、空き家バンクとかそういった施設を集める時に、やっぱり各地区の人たちのほうが、その地区の家だったり、そういう場所をわかっているの、早いんじゃないかなということで、設けさせたいと思っております。本当は役場職員がちゃんとしなくちゃいけないんですけど、人口も今1,030人ぐらいで時間もありませんので、設けさせたいと思っております。31年度につきましては、空き家計画を来年度つくらなくてははいけませんので、空き家の調査ということで9名ほど調査員を設けさせていただきたいと思います。その後32年度に続けて、相談員としてその場所で相談を受け入れて案内していただきたいという事業になります。32年度はまた今から検討しなくはいけませんけど、1回出たらいくらか、そういう報酬を32年度にはつけていくということで、考え

ていきたいと思っております。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解しました。ありがとうございました。

40ページですね、負担金補助金及び交付金において、村づくりファンド事業補助金が1,500万円ほど計上されておりますけれども、この事業の内容について説明をお願いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） ただ今の5番議員の質問に対しましてお答えいたします。この事業につきましては、事業対象といたしましては、村民から出た村づくりに対する事業に対しまして補助するという事業になります。これまで一番近いのはですね、ハマテックさんのグランピング事業、こういったものが取り上げられております。

来年度につきましてはまだ申請等上がっておりませんので、今上げている予算は、上がってきた時のためにということで1,500万円ほど上げさせていただいております。

事業につきましては平成28年度から平成32年度ということで、一応来年度までが事業になります。ということで、説明を終わります。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） この1,500万円というのは31年度事業で、まだ使用目的は決まっていないということで理解をしてよろしいのでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） 12月まで担当課長をしておりましたもので、私のほうで代わって答弁させていただきたいと思っておりますけれども、このファンド事業につきましては、平成32年度までが期限ということになっておりまして、それまでに使い切らなければ返還ということになります。せっかくいただいている外部からの資金ということになりますので、ぜひ村としてはこのファンド事業を活用していきたいということで

すね、思っているところです。今のところ、新年度につきまして、申請がまだ見込みがですね、はっきりとしたものは出てきていないところなんですけども、こちらの村としてもですね、PR等を進めまして、いろんな場面でですね、使っていただきたいということと、大きく1,500万円計上させていただいたのはですね、本年度につきまして急に1,000万円程度ですね、補助が出たということで、補正をさせていただいた関係もありましたので、ある程度大枠を取らせていただいでですね、募集をかけていきたいというふうに考えているところです。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解しました。要望がたくさんふえることを願っております。終わります。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） それでは、各担当課長にお伺いいたしますが、まずですね、32ページですね、ふるさと納税寄附者の、ちがう、34ページでした。一番上にですね、ふるさとチョイス利用料5万円上げておりますが、これはふるさと納税のための資料と思うところがございますが、30年度はですね、どのくらい納税があったのか。それとですね、今のところふるさとチョイスしか使われていないのかを伺います。

次にですね、その下にですね、負担金補助金及び交付金とありますが、30年度はですね、研修参加負担金という名目がありました。今年はなくなっているようですが、今ですね、若い職員がかなりふえております。まだ西米良全体のことをですね、知らないと思います。そこでですね、やっぱりせつかく企業、例えば米良の庄とかですね、米良食品とか、ああいうところに何日かですね、研修に行つて人を覚えたり、仕事を覚えたりするのもいいんじゃないかと考えます。ぜひですね、この研修参加負担金、これも組み込んでもらおうといいのではないかと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それでは、ただ今のご質問にお答えさせていただきたいと存

じます。今年度のふるさと納税の寄附につきましては、現在高です、66万円寄附が入ってきていることになっています。このうち35万円が個人の寄附の方、直接寄附の方ということになりまして、ふるさとチョイスという、ふるさと納税専用のサイトを利用したものが31万円ということで、ほぼ半分半分ということになっております。このふるさとチョイスは本年度途中から導入をさせていただいておりますけれども、11月分からです、入っております、11月から12月の2カ月分で33万円ということで、かなり大きな影響があったのかなというふうに考えておるところでございます。今年度、こういったものを踏まえまして、100万円をとりあえず目標とということに取り組んでいるところではございますけれども、これまでの議会の中でもふるさと納税の推進等もご指摘、ご指導等もありましたので、またいろいろと課内でもですね、検討して、この寄附がですね、たくさんふえまして、また一定の財源としてですね、使えるというふうになるまでですね、取り組んでもらえればというふうに思っているところです。

また、研修につきましては、これもこれまでの議会の中でもご指摘がありまして、本年もですね、村内の地場事業所のほうに研修をとということで、いろいろと計画を立てていたところだったんですけども、特に若手職員のほうに声をかけてということで、やっていたところなんですけども、受け入れ事業所さんと職員の調整がちょっと合わなかったということで、今年は1件というところにとどまっているようでございます。場所はゆず団地の収穫経験ということでですね、参加をしているんですけども、今後そういった地場産業のお手伝いとか、現場を見るとかですね、そういった広い目というのは職員には必要かと思っておりますので、研修も継続して考えていきたいというふうに考えております。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 昨年ですね、現地調査、視察に行ったときですね、越知町ともうひとつあったんですが、すみません年末年始もないぐらいですね、忙しいぐらい寄附があったというところではございました。ぜひですね、本村もですね、職員さんは大変でしょうが、年末年始も正月もないぐらいですね、寄附がどんどん集まるよ

うに努力されるといいのかと考えております。ぜひですね、この研修もですね、あちこちお願いをしてですね、早く地元地域を覚えてもらおうと、それとまた人を覚えてもらおうといいのではないかと思いますので、よろしく計画をしていただくようお願いいたします。以上です。

○議員（3番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 37ページの業務委託料の中に公共施設個別計画策定委託という項目で500万円ほど予算が計上されておりますが、この点についてと、次の38ページですね、報酬費の中の総合戦略検証委員会報酬ということで、平成30年度に比べまして、3.5倍の予算がついております。この件についての委員の人数とですね、どのような検証委員会の回数をされるのかということをお聞きしたいと思っております。それとあわせてですね、39ページの先程もちょっと触れられましたが、明日への翼事業の件ですね、前年も若手の方がですね、15名ほど参加されたということですが、せっかく研修に行かれてですね、良い刺激を受けてきたと思うんですが、その若者たちがですね、その研修を生かせる場というかですね、みんなで集まって、米良のために、こんなことがいいんじゃないだろうかとか、そういう集まりをされたのかなと、少し思ひまして、せっかく良い経験をされたのですから、そういったことをですね、場を設けて1つでも村のほうにですね、つながるような会をしていただければと思うところでございます。その点についての質問をさせていただきます。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 3番議員のご質問にお答えしたいと思います。委託料の中の公共施設等個別施設計画につきまして説明させていただきます。この計画につきましては、31年度、32年度の2カ年で計画をしております、平成28年度にですね、公共施設の総合管理計画を策定いたしました、これは村の所有します公共施設の整備、修繕改修計画をですね、おおまかに記載したもので、これをより具体的に計画を作成するのが、今回計上しております公共施設の個別施設計画になります。この計画はですね、各省庁から平成32年度までに計画を作成するように依頼がきておまして、この計画をつくることによってですね、修繕等の優先度の優劣、施設等の適

正な管理等も実施することもできますし、会計年度の支出額の負担がかからないような計画をつくれるようになっております。というのはこの計画をつくることによって、さまざまな補助金等もですね、受ける割合というか率もですね、上がりますので、ぜひこういう計画をつくってですね、今後村有の施設の管理をしていきたいと、予算を計上させていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 3番議員の質問にお答えいたします。2点。まず、総合戦略検証委員等報酬につきましてです。こちらの内訳といたしまして、総合戦略検証委員会、それから総合戦略評価委員会、それとこちらにですね、先日承認いただきました景観条例の景観審議会の報酬も入っております。ふえましたのは審議委員会の報酬、それと総合戦略がですね、平成28年から始まりまして、32年度までとなっております。その中間に当たりますので、中間を検証するという目的で総合戦略検証委員会を開くことになります。その報酬が15名ほどになりますので、その分の増となります。こちらにつきましては以上です。

それからもう1点、明日への翼事業の実施後の内容ですけども、まず皆さんご存じのとおり11月の21日にこちらで参加者の報告会がありました。その後何回かそれぞれ集まっているみたいなんですけど、先日ですね、ワークショップというのをここで開きまして、行って、何か変わったものは自分の中であるけど、すぐすぐ行動したいけど、まだちょっとどうしていいかわからないということで。ただ各地区のイベントに参加したり、そういったものには前向きにしていこうと、そういうものがありました。それと、その中でいろんな話を聞く中でですね、いろんな海外に行つての経験等、観光等につきましていろいろ話していただきましたので、そちらのほうを私たちが拾ってですね、その内容を村に対しての観光の提言というふうに報告書ができればいいなと思っております。それに対して私たちがその方たちと話して、今後どういうふうに村づくりに進めていけるか、そういったのを話しながら、参加した皆さんと実施できればなと思っております。今はこういう状況で。それから、3月10日ですけど、小川の日平、伐採中ですけど、そちらに植栽活動ということで、すみません、小椎尾でした。小椎尾に植栽活動に行かれるということを聞いております。その後も話し合

いをするということでしたので、いろんな意見がまた出てくるのではないかと考えております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 了解しました。特に明日への翼の事業に関しましてはですね、次の世代を担う若者たちの事業でありますので、若者たちですね、意見が反映できるようなですね、会にしていいただければなと思っております。以上で終わります。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 終わりましたが、私のほうからも言っておきます。なぜ、若者の翼をしたかということでもあります。これはですね、若者個人を磨くということなんです。個を磨く。それともう1つには、若者同士の絆を高める。いま1つには、やっぱり郷土愛を育てる。そのための学習として、いわゆる非日常的なものを見てくる、しかも自分たちでできない経験を早目にさせる。だいたい40代50代になればヨーロッパでも行かれますが、20代とあと30代で行く人は非常に少ないと思います。それで早く意識を持ってもらうということでもあります。私も参加しましたからよくわかりますが、帰ってきてからの彼ら同士を含めまして、ずいぶんと親近感が湧いているんだなど。それから先程もありましたように、西米良でも何かせにゃいかん、したい、という気持ちもずいぶん大きくなってきたように思います。だから今すぐ何ができるかということでありましたように、村の行事等に参加しながら、実態をしっかり自分が体験し、そしてしっかり知識を得て、さらにどうするかを考えていきたいということも言っておりますので、大変楽しみにしているところであります。1回行ったから何かが変わるというものではありません。またあんまり大きな負担をかけようとも、私は思っておりません。のびのびと若者を育てる、そのことが必要だと思っておりますので、ご理解を賜ればというふうに思います。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお尋ねをいたします。37ページですね、先

程の業務委託でもう1個関連で、アスベストの調査委託業務というのが129万円ほど計上がなされております。これについてはどの施設が対象かということについてお尋ねをしたいと思います。

それから続きまして41ページのですね、10万円の補助金ということで、大学生と集落との交流支援ということで最近毎年行われておる事業であろうかと思うんですけども、こちらについて、どちらの大学が今年はどうか、次年度は対象なのか、それからその大学生がですね、自分たちのためだけに集落を訪れて、何といたしますか、何のために来られるのかという意義をですね、もう一度確認をさせていただきたいなという点についてお尋ねをしたいと思います。

それからですね、44ページの備品購入費でございます。バスの乗務員の制服の購入ということで5万5,000円ありますけども、これは新しい方がどなたか見つかったのかどうか、という点について。それとですね、バスの購入ということで26人乗りという、けっこう大きなサイズを買われる予定にしておられるんですが、あえて26人乗りにされているということは、何か運行形態を見直すというか、何といたしますか周遊バスというか、そういうのを考えられているのかどうかという点についてお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 1番議員のご質問にお答えしたいと思います。まずアスベストの調査ですけれども、30年度に基幹集落センター、ふたば園、村所公民館、竹原協業センターのほうを調査をしまして、31年度におきましては、13施設、小中学校の敷地集会施設、それと宮之瀬公営住宅、竹原公営住宅、桐原公営住宅、田之元公営住宅、旧越野尾小学校、旧板谷小学校、小川小学校ですね、それとあと横野の福祉センター、それとユズ貯蔵庫、この13施設を調査予定としております。この調査につきましては、全額補助等対象となっておりますが、もしアスベストが出た場合はですね、その分の、どの程度の量が含まれているかという調査も必要ですので、その分も含めてですね、今回委託料のほうを計上させていただいております。

次に、バスの乗務員の制服についてはですね、これは新たな乗務員の方が見つかったということではなくて、今年度に引き続き乗務員の方を募集するというので、も

しそういった採用が決まった場合にですね、制服の購入をということで予算を計上させていただきます。

それと村営バスの購入についてはですね、現在4台所有しておりますが、これは全部40万km以上走行してしまっていて、今回一番修理が多い三菱のバスの入れ替えを考えております。26人乗りのバスを購入するに当たってはですね、路線によっては15人乗りのバスを運行しておりますが、それでは乗り切れないということもありまして、順次バスについては3路線を回しながら運転することもありますので、そういった対応のために26人乗りのバスを購入ということで、今回予算を計上させていただきます。特に路線の変更とかですね、形態の見直しというのは今のところ考えておりません。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 1番議員の質問にお答えします。私からは、大学生との交流事業につきましてです。最近では宮大の大学生と九州工業大学の方、また、いろいろ膨らんでですね、いろんな大学の方が来られております。最近の内容につきましては、小中学生との交流事業ということで、キャンプファイヤーをしたり、魚釣りをしたり、流しそうめんづくりをしたりですね、そういったものになっております。その後、報告会ということで、今進めております。小中学生につきましては、大学生とか高校生とか、この地区にはいないので、大学生たちが来れば本当に楽しんでですね、そういった交流はしてくれます。それと報告会ということでさせていただいているんですけども、こちらにつきましてはもう少しホイホイラインとかですね、皆さんに広く知らせまして、たくさんの人に来てもらうように、私たちのほうも進めていかなければならないと思っております。それと1番議員からもありましたように、何を残すかということなんですけども、今後、いろいろ課でも話しているんですが、西米良村役場からこういったテーマを与えて、それに基づいてそれをこの場で討論していただいて、何かものを残してもらえるシステムづくりも今後してかなければいけないなどは思っております。ということで説明を終わります。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。大学生のほうはぜひともそういっ

た形で、何らかのメリット、我々にとっての、西米良村にとってのメリットという部分も生かしていけるような取り組みをまた今後とも続けていただければと思います。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 備品購入費の中で、村所驛のレジスター購入59万4,000円が計上されております。実は最近テレビでもコマーシャルがあつてはるんですけども、P a y P a yとかキャッシュレス決済がどこそで流行っておつてですね、観光客のお客さんは何かあつた時のために1万円、現金を持って、あとは全部カードで観光施設を回るといふような話も聞いたところでもあります。今コンビニあたりに行くと、P a y P a yといますか、携帯を差し出せばピッとやってそれでもう決済ができるんですね。お金をやったりお釣りをもらったり、そういうのがだんだんなくなつていって、決済がほとんど仮想通貨というんですかね、よくわかりませんが、お金を、現金を持ち歩かないという買い物が、今都会で流行っているということでもあります。今度電車で行く時に、S U I C Aか、あれでピッピッとやって、村長もいつもあれで乗られると思うんですけども、W i - F i がこうついでですね、いろいろ最先端の情報を発信したりする中で、インバウンドの中ではその次はキャッシュレスだろうというふうには私は思うんですね。それで温泉それから百菜屋、湖の駅、下のこのあたりの商店街も含めてですね、このレジスターを新しく入れると同時にですね、キャッシュレスで決済ができるような、そういうような、何と申しますか、視点と申しますか、そういうものも入れてですね、これから先いろいろ整備をしていく必要があるんじゃないかなというふうには思うんですけども、執行部のほうはどのようなお考えでおられるか伺いたしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） 6番議員の質問にお答えいたします。キャッシュレスにつきましては、宮崎県内でも今いろんな研修が行われております。インバウンドに向けての。これはキャッシュレスをすると、施設に手数料とかがかかってきます。だから、インバウンドがそろそろ、たくさん来られると予想した時に、そういつ

た機械をつけていくべきではないかなと今、思っております、今はちょっとまだそういった方たちが来られていないので、情報等を得て、また課内でいろいろ調べましてですね、実施に向けては検討してまいりたいと思っております。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 補足します。今議員おっしゃいましたとおりです。世界では今キャッシュレスが当たり前です。全世界で一番キャッシュレスが進んでいないのが日本であります。なぜなら、日本は金に対する評価が高いんです。偽造できないんです。お隣の中国あたりについては、非常に偽造技術も高いものですから、現金は非常に危ないということから一気になって、ほとんどがいわゆるおっしゃいましたように、カードかスマホかということになっております。先程ありました若者の翼でもヨーロッパに行きました。ほとんどキャッシュレスです。カードです。だから行った若者たちもカードを使うことの実習もしまして、大変自信を持って帰ってきたようであります。そういう社会になることは、ご高説のとおり。もうすぐ来ると思います。ただ現実には今日南とかで大きな船が入って3,000人とか来ます。イオンとか大きいところは対応してあるんですが、日南とか串間とかああいうところの小さいところの店は、そのキャッシュレスの対応がしていないものですから、すごいトラブルがあると。もう中国やら東南アジアの方々は、キャッシュレスして当たり前。カードで買えないことが不思議でたまらん。だから持ってきてこれをと言われると、できませんと言われると、なんでできないのかのトラブルがですね、それをご理解いただくのが非常に苦慮していて、あるところでは、船が入ったらシャッターがバーっと閉まると。手数料を払ってまでそういう読み取り機を入れるほどでもない店も、はっきりいってたくさんあるわけでありまして、地方にとっては非常に厳しい対応をせざるを得ないというふうに思います。おっしゃいましたようにWi-Fi等しましたから、この次はそういうことになるというふうに思います。で、商工会も含めまして、いろいろ検討して、そういう時代に即した決済サイトをしっかりとつくり上げていくことが、本当に急務だというふうに思っておりますので、そのような体制に向かって取り組むことを申し上げまして、ご返答いたします。

○議員（6番 中武 勝文君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） それでは次に進みたいと思います。

質疑3 款2総務費 項2徴税費、項3戸籍住民基本台帳費、
項4選挙費、項5統計費、項6監査委員費

○議長（濱砂 征夫君） 次に、項2徴税費、項3戸籍住民基本台帳費、項4選挙費、項5統計費、項6監査委員費は一括して質疑を行います。45ページから53ページですね。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進ませてまいります。

質疑4 款3民生費

○議長（濱砂 征夫君） 款3民生費について質疑はありませんか。53ページから62ページ。

○議員（3番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 56ページの配食サービス事業委託ということで、172万8,000円上がっております。この点につきましては、単身高齢者等に対する週数回の食事の提供ということで資料をいただいておりますが、これに該当する年齢と、村内に何名の方がいらっしゃるのかと、それと、単身ということですが、高齢のご夫婦で過ごされている方もいらっしゃるの、そのへんの方たちまで配食することはできないのかなという点を、質問させていただきたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今のご質問にお答えいたします。配食サービスにつきましては、先日補正のところでもご説明を申し上げましたとおりでございます。週2回程度ですね、お弁当を届けるというサービスとなっております、基本的には単身の高齢者で、低栄養状態の方々にお弁当を配付するという事業となっております。社会福祉協議会与連携してやろうと思っております。どのような方ですね、

配食を行うのかにつきましては、健診を行ったときにですね、その方々の栄養状態が出てまいります。血液検査によって出てまいります。その状態を見て、ケア会議等を通してですね、この世帯には配食が必要ではないかという人たちをピックアップしまして、そこに配食を届けるというようなことで計画しております、今のところ、基本的には単身の方がですね、低栄養状態になりやすいんですが、状況を見ますと、ご夫婦で高齢者というところの世帯はですね、同じように低栄養状態、2人ともというところがございます。そういったところにも、当然配食はさせていただきたいと思えます。もちろん、個人負担金もありますので、事業内容を説明しまして、利用を希望される方にはなりますけれども、なるだけそういったことを利用してですね、低栄養状態に陥らないような対策をとらせていただきたいと思います。今年度の状況でいきますとですね、20名ほどそういったサービスをしたほうが良いという方がいらっしゃいましたので、次年度につきまして20名で予算を上げさせているところでございます。以上でございます。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 了解しました。それとですね、61ページのほうにですね、工事請負費ということで、保育園のですね、予算が計上されております。それにあわせてですね、60ページのほうに委託料ということで、認定こども園新園舎工事管理費ということで800万円ほど上がっておるんですが、この管理費の、どのようなことを管理されるのかをお聞かせ願いたいと思えます。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 認定こども園につきましてはですね、現在設計にとりかかっているところでございます。次年度につきましては、園舎建築ということに進んでいくことになるわけですが、その設計会社とですね建築会社は当然ちがう会社になりますが、その施工管理について委託するものでございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 管理費の件につきましては了解しました。認定こども園が天包荘の敷地の横にできるということで、天包荘に入居されているですね、ご高齢の方もちっちゃい子どもたちがですね、近くに来るということで、大変心待ちにして

いるというお話を聞いております。役場に次ぐ第2の建築ということで、村民の方もですね、大変期待をしている施設でございますので、そしてですね、現在竹原地区のですね、災害時の避難場所にですね、公民館が使えないということで、天包荘のほうをですね、一応避難場所ということで、場所を間借りしております。できればですね、その認定こども園のですね、避難場所ができるようなですね、空間があればいいなと思っておりますが、そのへんのことについてですね、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今のご質問にお答えいたします。認定こども園につきましてはですね、当然各学年ごとに仕切りができることになっておりまして、また全体でですね、子どもたちで動き回れるホールも、今度は設置しないといけないということになっておりまして、そういったところがですね、災害の際に、避難場所とできるように、あわせて検討しているところでございますので、完成した時にはですね、後にはそこを使っただけのようなことになろうかというふうに考えております。以上です。

○議員（3番 上米良 玲君） はい、了解しました。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 担当課長にお伺いをいたしますが、55ページの人工血液透析の交通費助成事業62万4,000円計上されてございますが、これも昨年度の当初の同額ということであります。現在どれくらいの方がこれを利用されているのかということと、医療機関名はよろしいんですけど、球磨郡のほうが多いんでしょうか、西都側のほうが多いんでしょうか、そういった地域について伺います。

それからもう1点ですが、56ページ。高齢者福祉費の扶助費になりますが、高齢者等タクシー利用券交付事業。これについては昨年度まではバスの兼用券ということだったというふうに理解しておりますが、これについてはタクシーだけの利用券ということの交付事業ということになるのでしょうか。2点を伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 大変申し訳ありません。1件目の数字が追えなかった

んですが、タクシー券をまずお答えしたいと思います。タクシー券につきましてはですね、昨年と同様バス・タクシー券で計画しております。実は以前からですね、バス・タクシー券につきましては、議会でもいろいろご質問いただいております、ほかの活用方法が、制度をもっと活用しやすいようにできないかというふうに検討しております、なんとか当初にということだと思っておったんですけども、まだ議論がうまくまとまりません、なんとか次年度中にはまた、新しい取り組みといいますか、そういったことをご提示したいなどは思っておりますが、次年度の事業としましては、従来どおりバス・タクシー券で活用させていただきたいと思っております。

すみません、1件目が追えませんでしたものですから、もう一度お願いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） バス・タクシー利用券ということになりますが、これにつきましては昨年の9月の議会では一般質問させていただきました。私のほうからですね、利用券を使えない方も多くいるということでもありますので、その分については、燃料代とか、ほかの金券として村内で活用できないかなというご相談をしたんですが、それについてはちょっと難しいだろうということでした。しかし、社会福祉協議会が利用する福祉有償の運送代金に充てることは、検討の余地があるのかなということでご答弁をいただきましたので、そのへんのことの検討はなされたんでしょうか。またそのことが反映されているようであればですね、そのへんをちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。社会福祉協議会でやっております福祉有償運送につきまして検討もいたしました。ただしやはり軽々にそういったことに広げるとですね、民業圧迫につながるというようなこともありまして、なかなかそこまで踏み切っていない状況でございます。しかしながら、申し上げましたとおり、平成31年度中にですね、もっと議論をしっかりとやりまして、次の32年度からはしっかりとした制度で、また新たな制度でということのできるように、検討は進めてまいりたいというふうに思っております。またご相談させていた

だきたいと思います。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。今、高齢者の方も多くの方が免許を返納されてございます。それからいわゆる独居老人、お一人の世帯の方もものすごく多いということで、やはり交通機関の新たな構築といいますか、新しい交通手段の新規利活用、住民の方が利用できるような体制づくりというのはやはり喫緊の課題があるのかなというように考えております。こういった声も大きく聞きますので、そのへんも含めてですね、前向きにご検討いただければというふうに思います。

それから、最初の血液のことは聞き取れなかった。それではもう一度申し上げますが、55ページの人工血液透析交通費の助成事業でございます。62万4,000円。現在どれくらいの対象者がおられるのかということと、球磨郡側のほうが多いのか、西都側のほうが多いのか、医療機関名はけっこうですが、どういった地域が多いのか、そのことについて伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 人工透析の交通費の助成事業につきましてご説明申し上げます。人工透析を行う方の通院に要する交通費の一部を交付するものでございまして、現在利用者が4名いらっしゃいます。月1万3,000円の4名の12カ月ということで予算計上させていただいております。利用者につきましては、やはり球磨郡が多くなってきているという状況でございます。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） これはもう、球磨郡のほうであろうが宮崎のほうであろうが、金額は変わらないということになりますかね。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） はい。条例によりますとですね、村内にはないんですけど、利用機関が。村内の場合は何千円、村外の場合は一律1万3,000円という規定がございますので、それで交付させていただいております。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。ないようでしたら、ここで暫時休憩をいたしたいと思います。10時40分に再開します。

午前10時25分

午前10時40分

○議長（濱砂 征夫君） それでは再開いたします。

質疑5 款4衛生費

○議長（濱砂 征夫君） 款4衛生費について質疑はありませんか。62ページから70ページ。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 67ページですが、担当課長にお伺いいたします。飲料施設費において、名称が「一般家庭」から「地域集落」となっておりますけれども、補助金の中身が変わったのでしょうか。またこの補助金により改修を行っていただいた施設が、大雨と台風などの被害に遭いそうですね、再度改修が必要になった時には、この地域集落の飲料水整備が該当するのか、利用できるのかお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） 先程の5番議員の質問にお答えいたします。こちらの地域集落飲料水施設改修事業と書いておりますが、前年度と中身は変わっておりません。もう一つ、災害復旧に対する補助に対してですが、昨年1件台風災害によりまして、取水口が崩壊した箇所がございましたが、今回の場合は維持管理の範囲内だという判断ですね、部品のみで前回やっていただいた会社のほうが修繕していただいたので、そちらで対応しております。今後台風等出てきてですね、対応が出てきた場合は、まずはご相談いただいて、その後に再度検討させていただきたいと思っております。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（５番 上米良 秀俊君） 今言われましたように、越野尾の方なんですけれども、安価でもらったということで、相談されなかったということなんですけれども、おそらく異常気象等で今後そういうところが出てくると思いますので、ぜひとも、９０％というのはちょっと無理と思いますけれども、２回目は５０％負担とかいう、そういう被害に遭われた方に対しての助成も、よろしくお願ひしたいと思います。終わります。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 終わりましたが、私もただ今のご意見をお伺いしながら。国にはですね、災害につきましては通常と別段に対応策があるわけです。災害復旧費というのが。村にもあっていいかなというふうに思いましたので、今後また検討します。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

質疑 6 款 6 農林水産業費 項 1 農業費

○議長（濱砂 征夫君） 款 6 農林水産業費の農業費です。70ページから79ページについて、質疑はありませんか。

○議員（５番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） ５番、上米良 秀俊君。

○議員（５番 上米良 秀俊君） 74ページです。担当課長にお伺いいたします。農業振興費の負担金において、農業生産基盤整備事業補助金280万円が計上されておりますが、この事業内容についてお聞きいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、現場はですね、天包の硬質ビニールハウスの位置ですが、ここは硬質ビニールハウスが3件とですね、ちょっと小川を向いたところが2件、カラーピーマンを栽培しております。その関係で、今天包の下から水を供給しておるわけですけど、そこは3カ所から水を供給しております。実際には老朽化になってですね、施設も古くなって、水の確保がなかなか難しいということですね。それと今後新規就農者も入りますので、そこの観点から整備をしよう

うということで、事業費としては400万円考えております。その3分の2ということで、280万円を計上したところですので。以上です。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 75ページのですね、ジビエ施設の修繕料が50万円ほど上がっておりますけれども、これはまだ、できて2年ぐらしか経っていないような気がするんですけど、この修繕料というのはどこの部分ですか。教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） おっしゃったとおり、施設がまだ2年しか経過しておりませんが、突発的なもし修繕があった場合ということで、修繕費を計上しております。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 73ページになりますが、委託料。伝統野菜種子等確保委託、30万円計上されてございます。これの内容ですね、どういったことで委託されるのか。

それとその下の糸巻き大根商標登録更新委託9万2,000円計上されてございます。これにつきましては更新ということなので、その旨の委託だと思いますが、実際にこの商標をですね、利用された方、事業者等含めどれくらいの方が利用されておるのでしょうか。伺いたいと思います。

それからもう1点、伝統野菜生産振興事業補助金というのは、これは今年度でなくしたということになるのでしょうか。その3点を伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、商標登録ということですので、予算を計上しておりますけど、今度、今まで商標登録をしておったわけですけど、それが切れるということで、再度認定しようということで考えております。それと委託ですけど、委託につきましては、米良大根ですね、その今、種が不足しているという関係ですね、生産者に委託して種をとろうということで一応考えております。そ

れとイモとかですね、イセイモ。それとコンニャク。そういうような関係もですね、種が不足している関係でですね、それを委託化に向けて、今後調整していこうということで、委託を考えております。

伝統野菜の補助金につきましてはですね、それを今まで、それに代わりまして、もう委託のほうに伝統野菜を変えたというようなこととなります。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解しましたが、1点だけ。その商標ですよ。どのくらいの方が利用されているのでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今大根はですね、ペロリ農園がほとんどですけど、あの人たちだけです。以上です。

○議員（3番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 75ページのおがわ作小屋村修繕費並びに温泉施設の一般修繕費ということで700万円と350万円とそれぞれ上がっております。この修繕箇所の説明をお願いしたいと思います。

それと77ページのですね、備品購入費の、観光施設レジスター購入費ということで228万8,000円ほど上がっておりますが、このレジスターを入れる箇所をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） ただ今の質問にお答えいたします。まず、おがわ作小屋村修繕費につきましては、作小屋のレストランの方の茅葺き屋根の修繕。これが600万円ほどになります。あとは一般的な修繕として計上させていただいております。それから温泉施設一般修繕費につきましては、予備ポンプのバックホールの修繕、これが170万円。それから厨房照明の修繕が45万円。それ以外は一般の修繕として120万円ほど計上させていただいております。

それから観光施設レジスター購入につきましては、温泉が2台、作小屋が1台、湖

の駅が1台ということで計上させていただいております。以上です。

○議員（3番 上米良 玲君） はい、了解しました。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） ゆず振興対策事業補助金が246万円ほど上がっておりますが、中身をご説明ください。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） ゆず振興補助金につきましてはですね、ゆず残渣ですね、ゆず残渣と、それと作業道の生コン舗装。ああいう整備関係の補助金を考えております。それとあとは機械のチェーンソーとかですね、枝切りのチェーンソー。ああいうふうな形で補助を考えております。これは県の補助を利用した形で補助金を流すということで考えております。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 了解しました。ゆず部会も非常に高齢化をしてですね、それと同時に木もほとんど高齢しているんだよね。それで、植え付けて7年、8年せんとならんという、息の長い管理が必要で、収穫ができるということなんですけども、木が古くなってですね、今低樹効果の研修をやっておりまして、先日日之影からか、来ていただいてご指導を受けたところでもあるんですけども、低樹効果も確かに大事なんですけども、中に枯れたりですね、虫食いのように、ここにいっぱいあつとあつとちやがなというようなところも見受けられたところでもあります。そういう中で、苗木の補助をですね、一昨年でしたか、四国に視察に行った時に、ずっと苗木の補助は途切らせず役場のほうで組んでいただいておりますというところもあったわけですし、できたらその苗木の補助もですね、考えていただければというふうに思うんですが、どうでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 苗木の補助のもですね、ゆず振興のほうに入っています、今年。はい。して、今年約200本ですね、計上しておりますので、またそれ

を利用していただきたいと考えております。

○議員（6番 中武 勝文君） はい、了解です。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に移らせていただきます。

質疑7 款6農林水産業費 項2林業費、項3水産業費

○議長（濱砂 征夫君） 項2林業費、項3水産業費を一括して質疑を行います。79ページから85ページまで。質疑はありませんか。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 84ページですね、その山のみち地域づくり事業交付金事業負担金でございますが、毎年負担金を上げてもらっておりますけれども、開設状況ですね、毎年お伺いして気の毒なんですけれども、開設状況と、本年度の計画、そして今後の見通しについてお聞きしたいと思います。これについては小川から横野に通じる道のことです。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。現在横野から小川のほうまで計画しております小川・石打谷線ですけれども、延長が約5.5km。現在ですね、村に引き渡しになっている区間が約4.4kmございます。82%弱の事業の延長が進捗している状況です。その中でですね、約400m区間が地滑り等が起こっております、そちらの対策に今時間を要しているところです。残りまだ300mはですね、まだ未着手ということで、現在小川側からと横野側からの2工区で事業をしていただいております。今後も崩壊せずに強い法面をつくっていただくということで、時間をかけてやっていただいているところでありまして、現在のところ、国の補助金の配分で事業の進捗に影響してきておりますので、県のほうにお願いしまして、事業配分のほうを強力に要望していただいているところで、まだ特にめどが立っていない状況です。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（５番 上米良 秀俊君） 内容については本当に理解をしておるところでございますし、また、ご苦労されていることもよく理解をいたしておりますけれども、ぜひとも早期の完成を小川地域住民としてはお願いをしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○議員（７番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） ７番、濱砂 恒光君。

○議員（７番 濱砂 恒光君） ８３ページのですね、森林基幹道の長谷・児原線の進捗状況を教えてください。あと何年ぐらい見込まれておりますか。完成までに。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。長谷・児原線につきましては、全体延長が約２２ｋｍ、現在ですね、進捗率としましては、３０年度予算を完了しました後で９２．７％になる予定です。その分で残延長が１，６００ｍほどまだ残っている状況です。現在越野尾側のほうで施工をやっているんですけども、そちらのほうも地山の崩壊等がありまして、そちらにまたかなりの事業費を食ってしまっております。西都市側のほうから西米良のほうに向かっている工区につきましても、現在また地滑りが始まりまして、今工法等の検討を行っている状況です。前回の総会等のご説明の中では、できるだけ５年ほどでというお話はあったんですけども、３０年度に２カ所とも地滑り等が発生している関係で、現在のところはまだ見通しがたっていない状況です。以上です。

○議員（７番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） ７番、濱砂 恒光君。

○議員（７番 濱砂 恒光君） 村長にお願いしたいんですけど、会長でありますので、ぜひですね、西都側も西米良側に入っているんですけど、２工区をぜひ入れてもらうようにですね、私からもお願いをしたいと思います。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） おっしゃいましたとおり、森林基幹道長谷・児原建設促進期成同盟会で頑張りたいと思います。今年の総会では前年か、今言われましたように５年

ぐらいかかるという話ですが、3年でやっていけという話で、大分圧力をかけたんですが、西都市と一緒にしまして、さらに強力な要請活動を進めて1年でも早くできるように努力します。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） ありがとうございます。もう1点お伺いしますが、板谷にある菌種栽培ですが、あれはどんな状態なんでしょうか。教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、今菌種栽培としてはですね、タモギタケを今やっております。今球磨郡から来ておりますけど、1人でやっている関係でですね、あそこで培養してですね、種菌を持っていくというような形になっておりますが、施設としては順調に動いているということで、使用料等もピシッと入ってきておるといような状況となっております。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 担当課長にお伺いいたしますが、1点だけです。85ページの原材料費、水産振興費ですね、アユの中間施設の飼料代ということで226万6,000円を計上されてございます。今まで延岡のほうから多分飼料は仕入れられたと思うんですけども、今回変わるような話もお聞きしております。今までは海産だったんですが、湖産等にとの話も伺っておりますけども、以前は県の内水面漁連のほう湖産についてはいわゆる外来種が混ざるので、宮崎県内のほうは放流はできないというような話が、私が担当の時だったんですけど、ございました。そのへんも含めてですけども、今後仕入先が変わった時ですけども、どちらのほうから購入されるのか、どのような稚魚を仕入れられるのかを伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、アユにつきましてですね、延岡から今まで取ったわけですけど、そこがですね、来年からしないということで、そういう、しないというのがですね、需要がないということですね、ありました。そ

して実際に今年もつくっていなかった関係です、大分から取った。それで入れた関係があります。それで今度、来年度予算につきましてはですね、あゆの是則さん、日向にありますけど、あそこから取って直接取ると。海産とですね、一応海産に、じゃねして、湖産ですね、湖産を取るということになっておりますけど、一応湖産の場合はなんか小さいという話がありますけど、また海産とですね、湖産を考えて、また調整しながらですね、計画したいと思っておりますけど、実際に20万尾入れております。そして、県の延岡のとは7円ぐらいだったんですけど、実際に10円ぐらいにはなるだろうと、7gがですね。それで予算を計上しておるところであります。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 今ありましたように、県の栽培漁業センターが採算が合わんということでやめました。で、探しましたら今言いましたように日向のほうであるということです。で、議員がご指摘のように湖産も含めての話になっていますが、今までに経験した中で、湖産を入れてよかったことは何もありません。漁業者の皆さんもみんな喜ばれませんので、できる限り湖産は減らすように努力したいと思います。

今度の湖産が前に入れた琵琶湖のとどう違うのか、そこがちょっと研究はしていきたいというふうに思います。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 農林振興課長に3点ほどお伺いします。まずですね、80ページの需用費の修繕料でありますけど、10万円上がっております。これはですね、おそらく囲い罟の修繕料だろうと思っておりますけど、今ですね、なかなか囲い罟にはもうサルがですね、入らないような状況でございます。今後はですね、くくり罟のほうに替えてはどうかと思うところです。

2点目がですね、81ページですね。くくり罟購入事業補助100万円ありますが、これはですね、特別駆除班だけに配るのか、それとも村内の駆除班全員に配るのか。

もう1点がですね、原材料費でですね、作業路生コン舗装100万円上げてありますが、30年度の予算で、自分が質問をしたんですが、修繕ですよ、コンクリートが

割れたところの修繕。あれも考えられないのかという質問にですね、前向きに検討するというような答弁がありました。この100万円というのが前回としたら少し、若干上がっておりますが、この修繕費も一緒に入っているのか、お伺いします。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 大型罾のサルの補修ですけど、考えておるのが、板谷にあります大型罾ですね、サルも朝、実際に今年も入ってですね、入ったけど出たということなんです。だから修繕しなければならないということですね、一応修繕費を上げております。そしてその中にですね、実際にくくり罾のほうがいいのではないかという話もありますけど、くくり罾は1つしか捕れませんので、大型罾は10匹ぐらい捕れるということもありますので、そこの一帯の場合はけっこうおりますので、そこは修繕したいと考えております。

それと罾ですけど、罾の購入につきましてはですね、約200基考えております。それは各支部にですね、提供して、支部で取りましてまとめて誰が必要だということで、支部から購入していただいてですね、補助金という形で、一応8,000円ぐらいしますので、1基が。今の罾が。だいたい5,000円ぐらいを補助として考えております。それで200基。そしてこの事業はですね、もしかすると国の事業が入ってくるかもしれませんので、国の事業が対応できたら、国の事業で対応していくということになってくると思います。

それと生コン舗装につきましてはですね、原材料として提供するわけですけど、実際に50m以上ということで考えておりますけど、今のところ補修は考えておりません。実際にその3分の2ということですね、原材料を考えておりますけど、補修もですね、大型の補修がありましたら、そこらへんも今後検討したいと考えております。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 前の質問2点はわかりました。この生コンですね、これは大変今生コン代が上がってございまして、なかなか実施できない状態であります。もう少しですね、補助率を上げてもらうことと、かなりやっぱりコンクリート舗装が傷

んでおりますからですね、最低でも家に行くところの舗装だけでもいいですから、ぜひ補修費も見ていただくと。今度は前向きにでなくてですね、本当に見ていただくといいのかなと思います、いかがですか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 普通の作業道と違ってですね、生活道はあくまで生活道ですので、やっぱりそこまでは修繕として生コン舗装は提供したいと考えておりますけど、今後は検討したいと思いますが、実際に生コンもですね、立米単価2万3,000円ぐらいします。そして大型と小型で全然ちがいますので、小型のは割増が1,000円とか2,000円とか付きますので、単価的には上がります。それと、敷設もなかなか難しいわけですけど、個人でする場合は。受けずに出せば100m15万円以上かかりますので、そこらへんもですね、今後は検討の課題があると思いますので、今後は検討したいと考えております。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今の件につきまして補足します。今課長が補修等についてもと言いましたが、基本的に生コン舗装はその利便性を高めるために、生活の環境を改善するために、つくるんです。それに補助するんです。それを維持するのは本人がしていただきたい。これが基本です。基本は。ですがまあ、例えば作業道等のすごく長くなった中で大きな災害等とかいう時は、それは考えざるを得ないんでしょうが、少々のやつについてはやっぱり利用者負担と、やっぱり受益者負担という原則は貫き通していきたいと思います。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 先程、立米単価が2万3,000円かな。前はですね、1万2~3,000円で立米当たり買われたとかですね、かなり高くなっております。ぜひですね、補修のほうもですね、できればですね、今後ですね、補助を考えていただきたいと思います。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 気持ちはわかります。気持ちはわかりますが、補修というのは原則自分です。それが原則です。確かに単価が上がったかもしれませんが、やっぱり舗装してつくったということは、それだけの財産が、評価として高まるわけですし、それは維持するのは本人です。ですからそれは本人がするというのが大前提で、何でもかんでも補助すれば、1回つくったやつを壊れたらまた補助してというのは、先程の水道と同じでありまして、基本的には1回つくったものにはそうせざるを得ない。ただ、災害とか、そういう突発的な事故があった時には、やっぱりそれは考えなきゃいかんということでございます。ですから、否定するような言い方に聞こえるかもしれませんが、一定の負担額以上になるとかいうことを含めて、災害等の新たな程度設計をして、今後検討してまいりたいというふうに思います。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

質疑8 款7 商工費

○議長（濱砂 征夫君） 款7 商工費。85ページから88ページについてです。商工費について質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 87ページの観光看板製作委託料ということで、200万円ほど上がっておりますが、どの場所に設置されるのかをお聞かせ願いたいと思います。それと88ページの観光協会運営補助金ということで、前年度と比べまして約300万円ほど上がっておりますが、事業されるということでございますが、その中身を詳しく教えていただきたいなと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） ただ今の質問にお答えします。まず観光看板製作委託料200万円。こちらにつきましては、まず観光看板の内容といたしましては、インバウンドに向けた多言語の看板を設置しようと考えております。場所につきましては、今後検討して決めたいと思うんですけれども、観光施設になるかなと思っております。以上です。

それと、補助金の300万円の増額につきましては、温泉が20周年ということで、温泉のほうに補助。それと作小屋も10周年ということで、作小屋のほうに補助。それとそれに関連しまして、村が130周年記念ということで、そういった面で各施設にも、湖の駅それから川の駅等にも補助ということで、させていただいております。内容につきましては、今後むら創生課と各施設のほうで相談しまして決めていきたいと考えております。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 課長補佐にお伺いいたしますが、ホームページと観光看板なんですけれども、インバウンド対策としては本当にいいことだと思いますが、多言語で表示されるということで、どの国の言葉を表示されるのか。決まっていればお伺いしたいと思いますし、本当に外国人の方を迎えるのにいい対策と思いますので、その効果を大きくするためにですね、早期のインターネットの利用、そして看板の設置が望まれますけれども、いつごろからインターネットとか看板とかは、外国人の方が利用できるようになるのか。見通しがあれば教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長補佐。

○むら創生課長補佐（中武 敬一郎君） ただ今の質問にお答えいたします。まず2つありますけど、観光看板とホームページ。ホームページにつきましては、平成31年度いっぱいで作成をいたします。利用できるのはもうちょっと早目にしたいんですけど、平成31年度中にはもう完成させて、更新できればと。その多言語化だけでなくでですね、観光のホームページ自体もちょっと変えようと思っておりますので、平成31年度中の後半には利用できるようにはしたいと思っております。それと看板の対象につきましては、基本は英語のほうで、西米良に合うのは多分欧米だと思うんですけど、そこらへんにつきましてはちょっと、もう少し考えまして、実施していきたいと思えます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長

○村長（黒木 定藏君） 補足します。外国語は、英語、中国語、韓国語がふつうです。

その3つを書くのがふつうですから、そういうふうにできたら、したいと思います。それからいわゆるホームページなのですが、あまり変わっていないんです、うち。する力がないんです。それから役場全体の電算をそれぞれの部署で、各課でやっております。もう少し電算機能を高めるということをしないと、これから、今までのいわゆるどっちかというアナログみたいな電算ですが、そうじゃなくて今度は私たちの知能をAIとか、いろいろ使うものが出てきます。ですからそういうものに対応ができるような電算の体制をつくるために、今年は予算は計上いたしておりません。しなかった理由につきましては、これは新しい発想で新しい取り組みだから、ある会社に今ご相談しているんですが、そこが試しに今年については、全般については村でいろいろチームを組んで、うちもやってみるということで、テスト的にやるので、しないということです。ですから電算の核となるものと、西米良村の電算システムの構築というのもですね、同時にしながら、今おっしゃいましたようなことについても適宜対応できるような体制づくりもあわせていきたいと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、ありがとうございます。なぜこのインバウンド対策を早くしてということをお願いしたかといいますと、去年、当初予算でWi-Fiの予算を組んでいただきました。でも結局は12月、当初予算で組んでいただいても12月になったものですから、こういういい予算については、なるべく早くやっていただいて、利用したいという気持ちがあるものだから、お願いしたところでございますが、いろいろあるとは思いますが、どうぞ早期に利用できるように体制を整えていただきたいと思います。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いたします。関連になるんですけれども、今のはインバウンドの関係で多言語表記ということだったんですが、以前ユニバーサルデザインの導入ということで、私のほうからも一般質問等させていただいた経緯があるんですが、そういった点の取り組みについては今のところどのような、その後検討が何かなされたかどうかという点についてお尋ねをしたいと思います。

それからこれはお願いになるんですけども、村長のほうからも答弁でありましたが、先程からずっと予算が計上されております、レジスターの購入等ですね、やはり1台60万円近くするような機械になっておりますので、ぜひとも商工会等と連携していただいてですね、一般の商店の方等についての支援も、何らかの形で行えるように、ぜひ検討していただければと思います。

それから最後なんですけども、一ツ瀬ダムの休憩所のトイレ共同利用負担金ということで88ページのほうに計上がされております。これについてはダムのところのトイレがですね、今また再度使えるようにということになっておって、大変喜んでおるんですけども、先日ですね、トイレに入りましたところ、男性用のトイレのほうで、大便器のほうがですね、節水のため使用禁止と書いてあったんですね。どちらかというとなんか男性は多分大のほうを使うんじゃないのかなと思ったものですから。小であれば、あまりよろしくはないんですが、山のほうにちょっと入っていけば、男性の場合だったら用を済ませられる部分もありますので、そういった点ですね、西都市さんの施設にもなるので何とも言い難いところではあるんですが、ぜひですね、せっかく負担金を払って、利用できるようにしていただいておりますということであれば、なるべく快適に使える環境を整えていただければと思いますが、よろしくお願いします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問についてですけども、まず、ユニバーサルデザイン等につきましては、前回の答弁でもありましたように、まずは観光施設、公の施設、そういったもので必要だということで、お答えをさせていただいておりますが、今度役場新庁舎ができますけども、そういったところでの使いやすいレイアウトだったり、建物の構造だったり、そういったものが反映されるかと思います。また観光施設におきましても、先程の看板表示とかいうものもありましたし、ユニバーサルデザインを含めたホームページでの情報発信、そういったことも、幅広くユニバーサルデザインに入ってくるかと思っておりますので、そういったものから順次対応していきたいというふうに考えているところです。

また、観光施設のトイレにつきましては、今年度からですね、利用が可能ということになっておりまして、基本的には必要経費に対しまして、7対3の割合でですね、

西都市と西米良村が今後継続して負担するというので、そのうちの3割というのが今回計上している120万円程度の経費となっています。こちらについては、地元の方にですね、運営管理をしていただく経費、また突発的に出てくる修繕消耗品、そういった需用費関係、そういったものを計上をしているところがございます。使えるようになって利便性が高まったということですけども、早速そういった表示があったというのは、私は把握はしておりませんが、そこについては基本的に西都市のほうに管理をしていただいて、負担金を後でこちらが払うということだったので、そういったところも情報を確認しまして、西都市とも連携をとって管理をしていきたいと思っております。

ちなみに、水道についてはですね、ダム対岸のほうにある貯水池のところからですね、空中に配管を通してですね、こっちに持ってきているということで、今年の整備費の中でですね、あそこを開設するための改修等については、5対5の割合で経費をかけてですね、使えるようにしているという経緯もございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。ユニバーサルデザインの導入についてはですね、随時必要な箇所に必要なものを進めていただければと思います。トレイにつきましてはまた、いろいろと確認をいただいて、しっかりと使えるような環境でよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

質疑9 款8土木費

○議長（濱砂 征夫君） 款8土木費。88ページから92ページです。質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 91ページの工事請負費ということで、上米良地区にですね、村営住宅を建てていただくということで、計上されておるんですが、これの完成の月はどれぐらいを計画されているんでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の3番議員のご質問にお答えしたいと思います。住宅の完成の時期ですかね。今、本年度において土地の造成工事の方を進めておりましたが、土地の売買の関係がちょっと遅れまして、繰越明許というふうにさせていただきました。その関係でですね、造成工事のほうが繰り越しになった関係でですね、すぐ、地盤を固める時期も必要ですので、工事の始めの時期がですね、当初計画しておりました予定より遅くはなるとは思いますが、できましたら年度内には、遅くともですね、年度内には完成を目指していきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いいたします。92ページになります。ブロック塀安全確保事業補助金ということで56万円が計上をされております。これについては、どこのブロック塀で、どのような事業内容かということについてお伺いをいたしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） ただ今の1番議員のご質問にお答えいたします。このブロック塀については、箇所は限定しておりませんが、個人に対する補助金として計上しております。あくまでも今回は撤去のみということで、計画をさせていただいております。内訳としましては、国庫補助金が約2分の1、県費が4分の1、村費が4分の1、個人負担として1万6,000円を予定しています。全体の限度額が15万6,000円。教育委員会と建設課で現在子どもたちがいる範囲の中で鶴地区等を調査した箇所がありますけども、そちらからまだご相談はないんですけども、そういうところが個人があれば、その対象として補助を交付したいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。先日こちらに歩いて来る際に、村長とお話させていただいたら、ちょうどその学校に上がる階段ですね、そのブロック塀が危ないんじゃないかという話もありましたので、そういったところをですね、積極的にこちらから投げかけていただいて、危ないところは早急に対応ができるようによろしくお願いいたしますと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます

質疑10 款9消防費

○議長（濱砂 征夫君） 款9消防費。93ページから95ページです。質疑はありませんか。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 消防費について担当課長に伺いたいと思いますが、出初式で放水をしますね。その時に、合羽を着ますわ。各部が。この前も意見が出たんですけど、消防副団長もおられますが、合羽の支給はできないものかと思っております。各部統一した合羽を支給できないものか。予算面のこともあろうかと思っておりますけど、伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） 合羽の支給についてはちょっと今、現段階ではまだ考えていないところで、各個人が持っている合羽を使って、そういった作業をするということで計画しております。ただ今年ですね、備品購入の中に、消防服——防火服の予算を計上しております。いわゆる筒先で今まで抱えていた銀色の消防服ですね、あちらの更新を考えておりますので、そういったものに統一をされて、来年度予算が通りましたら来年度はですね、そういった統一の服装というかですね、そういったものでですね、放水も見られるのではないかというふうに考えております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いたします。95ページになります。委託料、IP告知端末整備委託料ということで、1億4,864万2,000円。それから工事請負費、デジタル防災無線整備工事請負費ということで、2億9,313万2,000円ということで、けっこうな高額な金額が計上をなされております。この事業内容と、それから財源について、見たところ起債のみしかなかったんですが、そういった財源等についてもお伺いをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それでは、ただ今の質問にお答えさせていただきたいと思
います。まずこの I P 告知端末とデジタル防災無線というのはですね、消防等で使っ
ております防災無線のデジタル化に伴って、今アナログ波を使っているものはデジタル
化ということで、行っているものでございます。これに合わせまして、先程ありまし
たように、緊防債の起債を使わせていただくんですけども、I P 告知端末、そういっ
たものを連動するというので、そういったものを財源にですね、一応これは100%
対応できるということでもありましたので、それを使いながら進めているところでご
ざいます。防災無線につきましては、いわゆる同報系とって、屋外のラッパの固定
式のもの、消防団が抱えてハンディとか積載している移動系、そういったものを
ですね、デジタル波にするということをしておりまして、31年度につきましては、同
報系の工事をする予定にしております。今年度中にですね、今基本設計、実施設計を
つくっておるところでございまして、それができたら、同報系を31年度、そし
て移動系を32年度にかけてですね、実施をするということで考えております。この
緊防債がですね、32年度までしか活用できないということなので、それを踏まえ
て32年度までに整備を進めていくということで考えています。現在実施設計の中
でですね、源五郎峠にアンテナが立っているところなんですけれども、やはり場所とし
ては、そこが良いだろうということで、事前調査の中では出ておりまして、そこで
デジタル波を飛ばすということで、調査の中では、現状よりもエリアは広がるとい
うことであると思うんですけども、現在やっぱりアナログ波の中でもですね、山陰に隠
れているところが届かないとか、そういったのは、どうしてもこうした地理的など
ころは出てくるかと思しますので、それだけに頼らず、いろんな手段を使った連絡体制
は必要かなというふうに考えているところです。また I P 告知端末につきましても、
現在のホイホイラインがですね、更新時期になっておりまして、その、どういった
新しいものを入れるかということで、今その内容を検討しているところでございま
す。各戸に整備するテレビ電話等になりますので、できるだけ使い勝手等が大きく変
わらないような仕様等をですね、設計業者のほうと検討しているところでございま
して、テレビ電話方式のもの、また、内容としては確定ではありませんけれども、情
報がですね、例えば個人の端末、スマホとかですね、ああいったものにも、出先でも見られ

る、そういったものにもいろいろ調整しながらですね、使い勝手のいいものをですね、選んでいきたいというふうに考えているところです。このIP告知の整備についても、もう今年度間もなく設計が終わりますけども、来年度実施ということで、考えております。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。IP告知端末についてはですね、基本双方向通信がもう可能であろうかと思っておりますので、そういった点も含めてですね、いろいろと今あります見守りとかですね、そういったものにももちろん活用する、今も現在活用されておるんですが、そういった点もまた拡充できるような形で取り組んでいただければと思います。デジタル防災無線については、範囲が若干広がるという話もあったんですが、今本当に防災無線が入らないところが多いです。ですので、せっかく整備をしていただくということですので、ぜひですね、ある程度国道から見える範囲という、ちょっと広いのかもしれないですけど、そういったところについてはカバーができるように、何らかの方策をまた検討いただければと思います。私どもが横野、小川、越野尾で3つで合同で訓練をしたりするんですけども、小川に向かう、越野尾に向かう途中等で無線を入れますが、全く入らないので、途中携帯電話も一部入らない箇所もありますので、そういった点でいろいろと不都合がある部分もあります。ぜひですね、しっかり検討いただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 予算には計上されておりませんが、先程消防の話もちよっと出ましたので、現在村所のこの建物の下の河川敷ですかね、消防等で活用させていただき、さらには花火大会のお客様の観覧する場所等、各種イベントのですね、駐車場などと多様にわたってですね、利用しているところですが、台風災害、増水等ですね、流されて、そのたびに駐車ができるように土砂等を入れてですね、整備をしていくという形になっております。整備するにあたってですね、かなりの予算等を消費しますので、今後どのような対策を講じられていくのか、現段階で、見解というか方向性があるのであれば教えていただきたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問に対してですが、イベントが実施される、消防出初式が開催されるたびにですね、そういったご意見をいただいております、村としましても、今いろいろとですね、対応が可能なのかどうかということですね、考えたり意見交換等をですね、庁内の中でしているところですが、まだはっきりと方向性としては定めていないところがございます。河川をですね、やったと思うんですが、固めて整備とかですね、そういったことが可能なのかどうかということも含めてですね、もうちょっとお時間をいただいて検討させていただければと思っております。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今のを補足いたします。この河川の整備につきましては、県の仕事であります。このもと河川を整備して、コンクリートを張ってきれいにしたのは全部県がしたんです。県について、県にこういう状態だから早くやってくれということを常に言うんですが、なかなか県も金がないらしくて、なかなかいきませんが、私たちはやっぱり平地の少ない、また広大な空き地の少ないところですから、非常に貴重なところですから、県に引き続き要望を続けていきたいと思っております。なお、県の河川関係では、今度、今やっているのは、キャンプ場の川端については、だいたい県のほうで採択をいただくということで、お願いができました。あのキャンプ場の下にも河川プールがあったんですが、あそこはいじらんほうがいいのかと思っていますが、これについてはまた県と、るる、お願い等もしながら、対策をしていきたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

質疑 11 款 10 教育費 項 1 教育総務費、項 2 小学校費、項 3 中学校費

○議長（濱砂 征夫君） 款 10 教育費の質疑を項ごとに行います。まず項 1 教育総務費、項 2 小学校費、項 3 中学校費を一括して質疑を行います。96 ページから 104 ページまでです。質疑はありませんか。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 担当課長にお伺いいたしますが、97ページの教育総務費の中の、使用料及び賃借料。小中学校の公務用パソコンリース料ということで98万1,000円計上されてございます。これにつきましては、小学校費、中学校費で児童生徒用は別に予算としてありますので、事務室の中で使うのかなのという予測はできますが、どのような方が、どのような目的で使われるのか、伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えいたします。公務用のパソコンということでですね、小中学校の学校の先生方の公務用のパソコンを今回更新するというので、予算上では5年リースということで30台。小中学校それぞれ15台ずつということでですね、予算を計上させていただいているところです。更新の理由としましては、整備して5年以上が経ったということ、それから現在使用しているパソコンのOSの保守が終わってしまうということですので、新たなOSのパソコンを導入するというので計画しておるところです。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） すみません、リース期間はどれぐらいですかね。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） 5年で予定しておるところです。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお尋ねいたします。98ページになります。村教育研究会補助金130万円ということで計上がされております。これは多分教育の情報化の関係のことだと思うんですけども、昨年度までもプログラミング学習だったり、積極的な子どもたちの情報化教育の推進がなされておりますけども、31年度のですね、実施内容等についてお伺いいたしたいと思えます。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えいたしたいと思えます。こちらにつきましては小中学校の先生方で、合同で研究されている教育研究会のほうへの補

助金の支出ということになっております。ご存じのとおり、28年度に現在の小中学校のICT機器の環境が整いまして、29年度、30年度とですね、研究公開のほうを実施しながら教員の指導力向上、それから子どもたちの学力向上にですね、努めているところです。31年度につきましては、一応研究公開3年を計画しておりまして、31年度最終の年ということで、進めたいと考えております。内容としましては、教員の先生方の研究をするということで、大学の先生方に来ていただいて、ご指導をいただくということで、それと研究公開当日にご講演いただくということで、59万4,000円ほど。それから研究公開当日の経費としまして、65万6,000円ほど計上しております。このような形でですね、来年度締めくくりの年という形で進めたいと考えております。

○教育長（古川 信夫君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） 補足をさせていただきます。3年目になるわけですけども、1年目から大学の先生に来ていただきまして、いろいろ指導助言をいただいているところであります。宮崎県内で実績がないということもありますので、大学の先生にいろいろ地域を回っていただいておりまして、知見を深めていただいておりますので、その実績をこの西米良村に持ってきていただきまして、ご指導いただくというような取り組みを進めているところであります。小中学校で来年度も3回ほど授業研究会を進めまして、11月14日に研究公開を進めるという予定にしているところです。最初の年度が170名、昨年度200名参加いただいております。31年度も200名ぐらいの規模を開催いたしまして、交流人口の拡大にも貢献できるのではないかなというふうに思っているところであります。

また、31年度はですね、東北大学の堀田 龍也という、情報教育に堪能な、全国的に有名な先生なんですけども、おいいただきまして、講演をしていくような形にしていきたいと思っています。非常に名前の知れた先生ですので、全国からおいいただく可能性が広がるのではないかなというふうに思っているところであります。私も学力の向上ということで、情報化教育というのを進めているんですけども、確実な手応えもある程度感じておりますので、さらに今後永続してですね、学力向上を目指し

て、教育の情報化に努めていきたいというふうに考えているところです。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。教員の先生方にとってはですね、とってもいい研究公開なんであろうと、私も参加をさせていただいて、思ったところであったんですが、子どもたちにとっては、多くの先生に囲まれてガチガチに緊張した中で、とても心苦しそうな子どもたちもいる姿も見える研究公開であろうかと思うんですが、実際そのプログラミング学習等も取り組まれておるところなんですけども、こういったところで、タブレット端末等を利用して学力が向上しておるとか、そういった効率が上がっているという点については、すごく目に見えてわかる部分があるんですが、プログラミング等については、実際具体的に何か成果というものは特別なものかもしれないですけども、何かこう、見えるものがあるかどうかについて、伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） プログラミング学習についてのお尋ねですが、お答えをいたします。プログラミング学習といいまして、プログラミング的な発想を子どもたちに身につけさせていくというのが狙いでして、いわゆる、いろんな命令を手順よく、機械に命令することによって動いていくんだという発想のしかたですね。それから、身の回りの電化製品が、そういうプログラミングによって動いているんだということを理解するというのが大きな狙いでありまして。私も今実践をしているところなんですけども、そういう思考ですね、体系を身につけさせていくということで、子どもたちに、答えの出ない課題について、それをどう解決するかというのが、今後非常に重要になってくるわけですね。そういう時に、子どもたちがいろいろ学んだことを組み合わせ、新しい考え方を身につけていくとか、新しいものをつくり出していく、そういう発想が大事な世の中になっていくということで、プログラミング的な思考、論理的な思考というのが重要視されているということでありまして、まだ目には見えないところですけども、そういった発想力を伸ばすことに、将来つながっていくのではないかなと思っておりますし、新しい学習指導要領ではですね、言語能力と同時にですね、

情報活用能力が学習の基盤になると。これ抜きには教育は語れないというようなところまで、言い切っている学習指導になっておりますので、ぜひそういう情報を活用する、そして論理的な思考というのを子どもたちに身につけさせていきたいというふうに考えておるところであります。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 効果がどうということかということでありますが、今日の宮日新聞の「声」の欄を見ていただきたいと思います。ロボットを使っているいろんなことをすると、こういうのが地域のおじいちゃん、おばあちゃんのために使えたらいいなということ、子どもがすごく前向きに書いております。確かに効果だと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。もう、もはや我々とIT機器は切っても切り離せない関係でありますし、これから生きていく子どもたちというのは、まさにその真っ只中にいる子どもたちであります。そういったもう、今から先、先程からも言われておりますとおり、自分たちの知能なのか、人工知能なのかという世界もおそらく出てくることになろうかと思っておりますので、そういったヒト的な部分でしっかりとしたスキルを身につけさせていただけるように、今後ともよろしく願いしたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） では、ないようですので、次に進みます。

質疑12 款10教育費 項4社会教育費、項5保健体育費

○議長（濱砂 征夫君） 項4社会教育費、項5保健体育費を一括して質疑を行います。

104ページから111ページですね。質疑はありませんか。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） それでは、担当課長に伺います。106ページの使用料及び賃借料。使用料16万4,000円というふうに書いてありますが、これは蔵書システムの賃借料のことでしょうか。それであれば、どれぐらいのシステムの使用件

数、使用があるのか、教えてください。それと111ページ。備品購入費が67万円計上されてあります。内容につきましてはわかりませんので、どのような備品を買われるのか伺います。2点伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。106ページ使用料及び賃借料でよかったですかね。こちら使用料につきましてはですね、現在当初のシステムを導入しております、当初同様の管理をしております。そちらのリース料ということで16万4,000円計上しております。それから111ページ体育施設費の備品購入費67万円ということであります。このうちの40万円はトレーニング施設の事務室に冷房機器を整備するというので、計画をさせていただいたところです。またあわせてですね、トレーニングセンターの壇上の看板を掲げる、看板の外枠なんですけども、これまで木製のものを使っておりましたが、かなり重量があつてですね、昨年のイキイキ文化祭の際にですね、ちょっと一部落下するというような事故がありましたので、こちらを軽量のものに、今回整備させていただくということで、予算を計上させていただいているところです。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 備品購入費等についてはわかりましたが、その蔵書システム、どのくらい利用があるか。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） 現在図書の貸出数ということでよろしいでしょうか。蔵書のシステムの活用というのはあまり、ほぼ私たちが蔵書している図書ですね、貸出数であるとか貸出状況、そういったものを一般的に管理するシステムになっておまして、現在図書の管理のほうにですね、活用させていただいているところです。貸出冊数としましては、今年度も3,000冊程度を見込んでいるようなところであります。以上です。

○教育長（古川 信夫君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） 補足させていただきます。蔵書検索システムにつきましてはですね、村民が新しい本をほしいという要望があります時に、その検索システムを検索しますと、あるかないかというのが、わかるわけです。ない場合に、今度は県立の図書館に探すとか、新しく購入するとか、そういった時に利用しているところであります。小中学校ともつないであります、小中学校にあれば、それを貸し出すということも可能なシステムにしてあるところであります。

立ちましたついでによろしいでしょうか。1つ説明させていただきたいんですけども、教育行政の充実というためにですね、次年度から県の指導者主事を派遣していただくような取り組みをですね、進めさせていただきたいというふうに考えているところであります。へき地でして、へき地の場合、教職員が3年間で替わっていくということで、一斉に替わりますと教育行政の、特に学校教育の充実という意味でですね、なかなか厳しいものがありますので、そういった永続的な教育制度の推進ということ、そしてさらなる教育の充実、人づくりの充実ということを考えまして、県の教育委員会から指導主事の派遣ということを今考えておりまして、ご理解いただくとありがたいと思っていますので、補足といたしますか、追加して説明をさせていただいているところであります。よろしく願いいたします。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 教育長にお尋ねいたしますが、今年、今回もですね、米良山の神楽の調査費が組んであります。いよいよ大詰めになりましてですね、おそらく今年度が最後かなと思うところでございますが、今回はどういう調査をなされるか。それと調査報告書の印刷製本費ですか、が上げられておりますが、これは今年度でできるのかをお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） はい、お答えいたします。各保存会または市・町の協力を得まして、順調に今調査が進んでいるところであります。神楽催行等や資料等の調査はほぼ終えたところであります。平成31年度はその報告書を書き上げるという作業になるところであります、一応原稿締切をですね、9月末ということで、調査員の先

生方をお願いをしているところでもあります。報告書を年度末には印刷をしたいというふうに考えておりました、600部印刷をする予定であります。西米良村、西都市、そして木城町に配布する。そして文化庁にその報告書を提出するという取り組みで、今のところ順調に進んでいるところでもあります。今月23日、24日に第2回目の調査の報告会もしたいというふうに思っております。中間でありますけども、調査委員会を開きまして、23日、24日に報告会をしたいというふうに考えておりますので、ぜひ村民の皆さんにもですね、各保存会、神楽団体のもですね、調査の内容について報告いただく機会になっておりますので、おいでいただくと大変ありがたいと思っております。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） では、ないようですので、次に進みます。

質疑13 款11災害復旧費 款12公債費 款13諸支出金 款14予備費

○議長（濱砂 征夫君） 次に、款11災害復旧費、款12公債費、款13諸支出金、款14予備費を一括して質疑を行いたいと思います。112ページから114ページです。質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 114ページの公有財産購入費100万円。それから立木購入費ですね250万円。これは場所と購入目的を教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、場所はですね、大字板谷の吉村というところです。村道吉村の竹徳さんの小屋をずっと上がったところですけど、所有者がですね、谷中洋子さんほか1名ということになっておりますけど、ここは森林整備センター。昔の公団造林の所有になっております。面積が全体で7.4ヘクタールぐらいあるわけですけど、その中でですね、立木がだいたいスギで2,565立米。そしてヒノキが60立米ぐらいということになっておりますけれども、この計算です。利用率がスギの場合57%、そしてヒノキで48%ということになっております。実際に私も調査に行きましたけど、かなり、あんまり良くないスギです。そし

て単価的にですね、スギの場合2,000円ぐらい、ヒノキの場合6,000円ぐらいしておりますけど、利用率をけっこう落としていますし、森林整備センターとですね、私が計算したところはだいたい今の計算では全体で330万円ぐらいと計算しておりますけど、全体で今の予算としては250万円程度予算は計上しておりますが、所有者とですね、森林整備センターの調整がまだいっておりませんので、全体的に。予算としては一応250万円計算しておりますけど、今後は森林整備センターなり地主と相談しながら、できたらまた落としていこうと考えております。土地の場合は面積として約7.4ヘクタールあるわけですけど、だいたい単価を7円。平米単価ですね、だいたい計算しておりますけど、まだそこらへんの計算もですね、所有者と森林整備センターと私のところがまだ調整しておりませんので、予算的に100万円上げておりますけれども、そういうことで、最終的には動くだろうとは考えておりますけど、予算の計上としては100万円と250万円を計上しておるところです。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） だいたいわかりましたけれども、購入の目的はどのような目的なんでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 購入の目的ですね、道線に、ちょうど上に西米良村の公団造林があります、森林整備センター。約20ヘクタールありますけど、作業道が開設されておりますけど、その、今購入するところを通らんと、その現地まで行けないということがありますので、そしてまた隣接しておりますので、帰る時もそこを通過して、森林整備20ヘクタールも今後整備していこうと、一緒に。だからそういう関連でですね、購入したということになっております。

○議員（6番 中武 勝文君） 了解。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、歳出が終わりました。ここで暫時休憩をいたします。再開を1時15分でお願いたします。

午前12時01分

午後1時16分

- 議長（濱砂 征夫君） それでは午前中に引き続き、再開いたします。
歳出が終わりましたので、歳入のほうに入っていきたいと思ひます。

質疑14 款1村税 款2地方譲与税～款12使用料及び手数料

- 議長（濱砂 征夫君） それでは、歳入の款1村税、款2地方譲与税、款3利子割交付金、款4配当割交付金、款5株式等譲渡所得割交付金、款6地方消費税交付金、款7自動車取得税交付金、款8地方特例交付金、款9地方交付税、款10環境性能割交付金、款11分担金及び負担金、款12使用料及び手数料を一括して質疑を行いたいと思ひますが、ご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。それでは款1から款12までを一括して質疑を行います。質疑はありますか。

- 議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

- 議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

- 議員（2番 白石 幸喜君） 担当課長のほうにお伺ひいたしますが、13ページの地方譲与税、森林環境譲与税ということでございますけれども、1,300万円計上されておりますが、これは国から示されたものを基にして計上されたということに思ひますけれども、これの積算の根拠を伺ひたいと思ひます。それから歳出については計上されておりましたが、これはまた補正のほうで対応されるのかなということに思ひますけれども、そのへんのことも伺ひたいというふうに思ひます。

それと17ページの使用料でございます。農林水産業費使用料8万8,000円の減額ということになっておりますが、これについては天包工区農地使用料の減と思ひられますけれども、この減額になった理由を伺ひます。以上2点お願いいたします。

- 議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

- 農林振興課長（上米良 重光君） 森林環境譲与税につきましては、面積割とですね、人口割と林業就農者の人口で計算されております。人工林の面積が西米良では1万1,114ヘクタールということになっておりますけど、その中から県行造林、

また市町村有林、それと公団公社を引いた形の人工林であります。それから対象面積がですね、6,576ヘクタールというふうな計算がされておりますけど、それに係数をかけてですね、計算がなされておりますけど、林業就農者数でも、これは国勢調査人口でいきますけど、39人と。それと市町村の人口が1,089人で計算がされてですね、1,300万円の計算がなされているということに、なっております。

それとさっきの土地の問題ですけど、土地につきましてはですね、全体の面積をかけた、天包の土地の面積をかけたわけですけど、その分で今年の計算ではですね、除地分を引いた形でですね、貸付料が決まっておりますので、減額になったということになっております。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 追加でご説明申し上げます。この制度についてはご存じのとおりでありまして、東北震災のための特別の課税が1,000円というのを、東北震災対策の課税が1,000円。その前にやるということで、あと4年後しかすまないんですが、特会の借入れをして200億円。そのうちのうちが1,300万円ということになりました。なおこの会計につきましては、1回基金に組んで、そして基金を取り崩すという形になってくるというふうに思います。またその人等につきましては、今全国町村会も含めまして、いろいろ申し入れをしておりますし、それから今決まっている段階でのいろんな疑問の点やら不審な点を含めまして、アンケートもされておりますので、随時煮詰まって制度がしっかりとでき上がってくるというふうに思っております。なお私どもは、これは譲与税でありますから、ずっと続くわけでありまして、それにやっぱり適確に対応するために、人的対応をしなければなりません。正職員では今考えておりませんが、臨時的にそういうようなのを知識の高い方に担当していただくということで、今考えておりまして、森林環境譲与税の適格な人について対処してまいります。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） わかりました。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 村民課長にお伺いいたしますが、村営住宅使用料のところですね、村営住宅がですね、空きになりましてもなかなか次の応募が、すぐに応募がされないと。できればですね、やっぱりせつかくの住宅ですから、空きがないようにですね、誰かが出られたらすぐ修理をするところは修理をしてですね、すぐ応募をしてもらおうと、もうちょっとこの使用料もふえるのではないかと思います、いかがですか。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の4番議員のご質問でございますが、おっしゃっておりですね。なかなか今、村営住宅9戸空きがございまして、空きができた時点で一応、応募の方はかけさせていただくんですが、その時期によってはですね、全然募集をかけても応募がないというような状態が続いておるような状態です。ただ2月3月になりますと異動の時期になりまして、そういった時期に集中するということがありますので、そういった面も含めて、今後そういった、早目にですね、空き家ができたら対応をさせていただきたいと思っております。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 私のほうから補足説明します。公営住宅は数に限りがございます。それで、早く行った人が早く入れただけでは、平等性を保てない場合がございます。一定の期間やっぱりお待ちして、同じ条件で皆さんがそのチャンスを得るということにしないと、先に入ったほうが全てとなると、住宅の中でも、例えばこの隣につくりました住宅もあれば、田の元みたいな住宅もあるわけでございまして、みんな新しいいいところに行きたいということになりますと、前から詰まっていくと後の人はととてもとれない。特に1人の方が入られてもいいんですが、1人の方が広いところに入られて、家族5人が狭いところに入るというようなことも不都合でありますから、やっぱり平等性を確保するということを含めて、ある程度は一定の期間をおかないと、空いたらすぐ入れる、入っていただくということでは、公営住宅としての機能は果たしにくいという部分があるというふうに考えております。でも、総論では、今4番議員がおっしゃいましたほうで、できる限り空き家がないように努めたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。では、ないようですので、次に進みます。

質疑 15 款 13 国庫支出金 款 14 県支出金

○議長（濱砂 征夫君） 款 13 国庫支出金、款 14 県支出金は一括して質疑を行います。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

質疑 16 款 15 財産収入 款 16 寄附金～款 20 村債

○議長（濱砂 征夫君） 款 15 財産収入、款 16 寄附金、款 17 繰入金、款 18 繰越金、
款 19 諸収入、款 20 村債は一括して質疑を行いたいと思います。質疑はございませ
んか。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 27ページ、諸収入、雑入になりますが、ゆず団地収入
ということで80万円予定をされております。前年度からすると、当初からしますと、
前年度が100万円ということでありますので20万円の減ということになっており
ますけども、今後ゆず団地につきましては、だいたい、どんどん成長していくので、
就労者等はふえていくと思いますけれども、今後のゆず団地ですね、就労を含め、
予定をどのように立てておられるのか、伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問にお答えしたいと思いますけど、まず、
ユズの収入ですけど、昨年と減っているじゃないかということですけど、今度ですね、
濱砂 充伸さんが独立されたものですから、今まで2人の分を収入として上げておた
わけですけど、今度は一番上の団地だけが収入になりますので、収入分が減るとい
うことになっております。そして全体的にも今度は、来年はですね、1人分の新規就農
者としてですね、認定していくということで、あそこはもう全部独立した形となっ
ております。だからその収入としてはほとんど上がってこない。そして土地の貸付料

だけが上がってくるような形になっておりますけど、そういう形ですね、動くということで、あそこはゆず団地としては4名体制でいくということで了解していただきたいと思います。以上です。

生産の見通しとしてですね、実際にもう10年以上経ちましたので、トン数当たり、最終的には30トンの上は採りたいと考えておりますけど、団地としては今10トンぐらいで動いておりますけど、平均3トンは、今ですね実際に10トンぐらいしか採れておりませんが、平均的にはもう上の団地まで含んでですね、30トン以上は収入に上がってくるというような形にはなってきますけど、将来的には100トン以上の生産量になってくると思いますけど、実際に西米良村自体でですね、今140トンぐらいしか採れていません。だから200トンぐらいを目指すようにですね、生産者も今努力しているところであります。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。ゆず団地につきましては、私どもも当初一緒にやった経緯もございますので、順調にきているのかなと思いますが、それぞれ自立をされておるような将来像が見えているということでございます。お金をかけるわけにもいかんと思いますが、やはり早く自立をできるようにですね、今後サポートをしていただければというふうに考えるところであります。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお尋ねいたします。26ページ、同じく雑入になるんですけども、市町村振興協会交付金、いわゆる宝くじ助成事業の交付金になるかと思いますが、この事業の充当先についてお尋ねをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問にお答えいたします。こちらにつきましては、子ども子育て支援券の発行事業、そういったものに使う予定で考えております。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で歳入の質疑を終わります。

質疑17 議決事項及び各付属調書等

○議長（濱砂 征夫君） それでは最後に、議決に附された各表と付属の各調書を含めた予算案全体にわたっての補足または総括しての質疑を行います。質疑のある方は質疑を許します。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 総括全体ということですので、お聞きをいたします。78ページ、農林水産業費の工事請負費が1,000万円ほど計上されてあります。これは集落センターの工事ということになるわけですが、新しい庁舎の中には会議室がちょっと少ないんじゃないかという話も聞いたりするところでもあります。ちょうど今、村長と副村長の部屋が元ホールみたいな形になっておりましたけれども、あの壁をそのまま残して、その中で会議をすとか、いろいろ検討されているとは思いますが、1,000万円をかけてどのような工事をされるのか、お聞きしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 6番議員のご質問にお答えしたいと思います。今議員がおっしゃられたとおりですね、村長室、副村長室についてはですね、今のまま残して会議室として使用するよう計画しております。今回の工事費1,000万円についてはですね、一応大きな事業としては現況復旧という形で考えております。ただ調理室ですか。会議室として今現在使っている調理室についてはですね、老朽化も進んでおりますので、一番大きな改修としては調理室のですね、改修を考えております。その他諸々1年半使ってみてですね、老朽化が進んでいる部分についてはですね、今回ちょっと改修の工事のほうをさせていただきたいと思っております。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） はい、その件については了解をいたしました。もう1点お伺いをいたしたいと思いますが、実はサクラの苗木の配付が来年までというふうにお聞きをいたしたところでもあります。以前一般質問の中で話を申し上げたところでありましたが、温泉館の下の土手といいますか、あそこ非常に向かいから見た時に、ちょっと荒れているなという感じがします。その川下には村所地区で百花亭をつくって、非常にあそこもサクラの花が咲き始めてきれいになったところでもあります。温泉館のほうに行く川上ですね、百花亭から川上、あそこがどうも、竹やぶがあつてみたり、ベランダといいますか、温泉の後ろのベランダから見た時に、下のほうがちょっとこう、竹が折れたりして、見苦しいようなところもあるように、私は思っております。サクラの苗木の配付が来年までというふうにお聞きをいたしましたので、できたら、サクラの苗木の大きなものを、今配付されているようなものを使って、あそこを大きく、サクラの、何といいますか、サクラの団地といいますかね、そういうものに替えていくのがいいんじゃないかなというふうにご検討をしております。来年のサクラの苗木の配付が、あそこで締めくくりというような形を取ったら、形としては整うんではないかなというふうに思うんですが、このへん、どのようにお考えか、お聞きいたします。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） この件については私のほうからご答弁申し上げます。まずサクラの話からします。ただ今一応配付したのが9,900本ということで、今年には1万本にいくかなと。来年までは準備しておりますので、サクラをいきたいと。そしてある程度経過を見たいと。そしてサクラの後には今いろいろ専門家と、それから苗屋さんとも交渉をしておりますが、モミジを使いたいと。今度はサクラの間に植えていくと。いわゆるモミジは半陰樹でありますから、十分それで育つということも含めまして、自然より豊かな、そしてきれいな景観ができるようにしていきたいと思っております。今お話がありました温泉館の川下手、ちょうど。あそこにつきましては、ご存じのように、非常に急傾斜地でございます。竹やぶがあるところまで

はまだいいんです。それから下はですね、もう崖に近いような急傾斜地でございまして、あそこを切り拓いてということもずいぶん考えましたが、切ること自体が非常に不安な状態にする可能性があるということで、しておりませんでした。でも、ご指摘のように、こちらから見た時に、やっぱりもう少しきれいに手入れをしなければ、ほかの周囲景観と合わない。特にキャンプ場というか宿から木橋までをウッドゾーンとしてやりたいという中では、そぐわないというふうには思いますので、ご指摘のようにあそこについてもう少し検討していきたい。どうもできない時にはおっしゃるように、下の方にサクラでも植えて、そういう目隠しもできるというふうに思いますので、対策をしていきたいと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で本案の質疑を全て終わります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから議案第20号を採決します。お諮りします。本案は原案の通り決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。従って、議案第20号平成31年度西米良村一般会計予算は、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次の会議は3月7日、午後を開きます。議事は、平成31年度各特別会計予算及び一般質問を予定していますので、ご参集願います。

本日は、これで散会します。ご苦労さまでした。

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同、ご起立ください。一同礼、お疲れさまでした。

午後1時36分散会